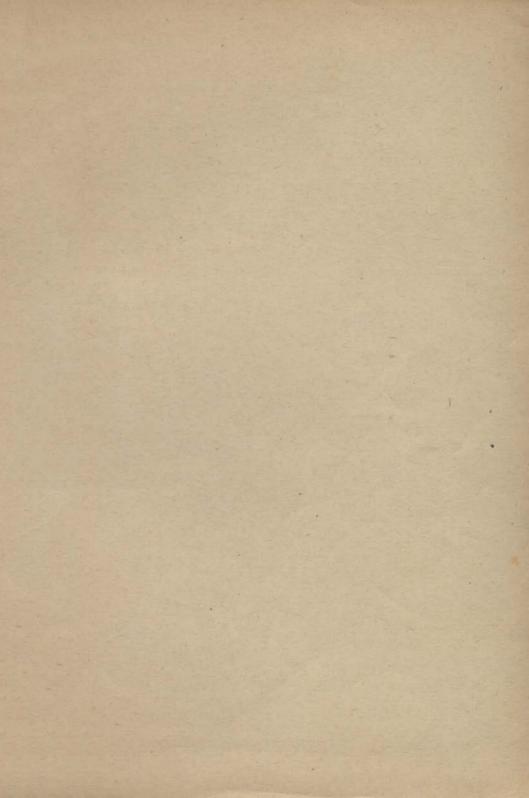
紀元二千六百年

校學女等高道尾立縣島廣會 曙 浦

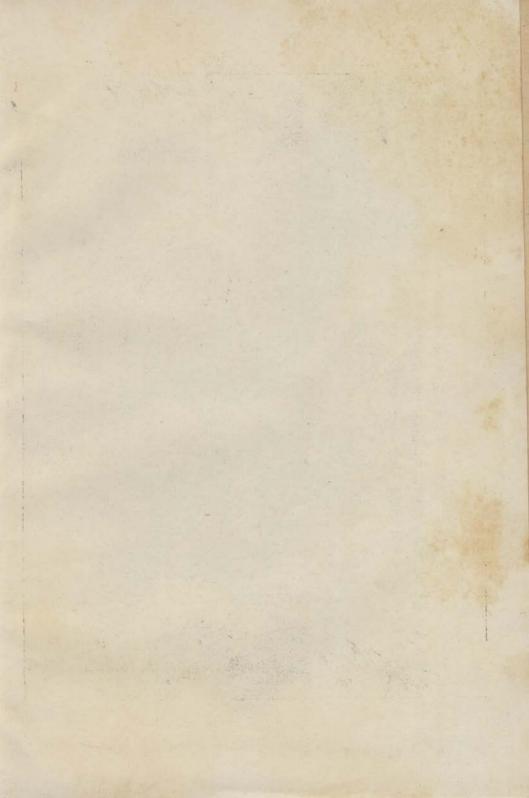


あ け ぼ の會 報 記元二千六百年

() ()	浦	異	同	會	母	恩	玉	御	п	表
A	曙	Wh.	983	EL		師		挨	繪	
合員現狀 本部總會寫眞 本部總會寫眞 下に代へて 本部總會寫眞 下に代へて 本部總會寫眞 下水川、藤田、鶴、岡 本部總會寫眞 下水川、藤田、鶴、岡 本部總會寫眞 下水川、藤田、鶴、岡 本部總會寫眞 下水川、藤田、鶴、岡 本部總會寫眞 下水川、藤田、鶴、岡 本部總會寫眞 下水川、藤田、鶴、岡 本部總會寫眞 下水川、原田、鶴、岡	會	400	HEN	月			0	拶		ěre.
日 現 株	會	者	俞	15				10	本	社
現	員	*				何	御	代		
株	現	名	Н	7		消		~		
事 人 子 77 肇	狀	38	誌	b		息	聲	T		
人 川 田										
人 川 田										
人 川 田	-									
人 川 田		-		-						
人 川 田										
人 川 田										
人 川 田										
人 川 田										
人 川 田	-									
人 川 田										
人 川 田	-									
人					李		宫	小		藤
一种				1			-	111		.田
					٨					鹤
二 克 英 宝 三 屯 宝 一	-		-		子		打	肇		國
	4	充	交	孟	=	-63	SEL	-		



昭和十五年度同窓會總會記念撮影



うそ皆様の絶大なる御援助を御願申上げます。 且つ欣幸とする所であります。然しながら、 御當地の如き山紫水明人情醇美な地に参り、本校の如き歴史の古き縣下有數の大校に職を奉じ微力を致すことは私 親愛なる會員の皆様私は去る三月三十一日、命に依り本校長を拜命し、自然本會長に就任することになつた次第でありますが、 甚だ懸念なさを得ないのでありますが、私の乏しき中の馬車馬的馬鹿正直を以て、驀直に進んで行废いと思つ て居ります。ど 私は生來魯鈍加ふるに淺學非才、時局極めて重大な折柄果して此の重 任 の最も光榮とし に堪へるや否

す。 ら又一 來るのである。つまり學校と同窓會とは一にして二、二にして一、相依り相俟つて榮えて行くものと思ふのであります。 の教育が如何に充實して居ると申しても、 くことは、誠に慶賀に堪へない所でありまして、是れに依つて本校の聲價をして愈々高からしめて居るのであります。思ふに學校 扨て皆様、今や本會員數は三千を越え、 钒製品に比せらるべき卒業生が社會に出て如何に立派に活動するか、それに依つて學校が評價されるのであります。然しなが 面には學校の教育が充實し社會から認められるやうになれば、是れを背景として卒業生も亦社會に於て重き をなすことが出 敷に於て盛况を見ると共に夫々社會人として立派な働きをなし、國家に功献して居らる 生徒は品物に譬ふれば云はゞ未製品で有りまして未だ市場價値を有ざさるものでありま

聲接を御願申したのは即ち此の意味に外ならないのであります。 此の意味に於て本校の發展の爲め皆樣の絕大なる御援助を下さることを切望して止みません。先に微力な私に對して絕大なる御

運動會卒業式等には御練合せ成るべく多數御出席下さること、 兩者が常に緊蜜に聯絡を保つ事であります。それ故私は次の事を是非共皆様に御願致し度いと思ひます。即ち本會 母校と同窓會とは相依り、相俟つて發展して行くものであること先に申上げた通りで有りますが、之が爲に最も 大切な事は、此 時々學校を訪問せられ度きこと、 遠方の方は時々御 消息を寄せられ の總會は

度きこと等、 此れに依つて一つには母校の近況を御覽下さると共に一つには皆樣御活動の模様を聞かせて敷き度いと思ふので有り

此 の祖先の ると近衞總理大臣は申して居られますが、此の臣道とは今俄かに國民の道として唱へられたものでなく、 総の下にその運動が實施されんとしつゝある事は、皆樣御承知の通りであります。そして此の運動の精神は要するに臣道實踐であ 功献せねばなりません。 翼賛し奉るやうにするのであります。 今や我 が國は、真に未曾有の重大なる時局に直面して居ります。此の時に當り、 實践し來れる我が國固有の道。 一擲して、 從來婦人の天職と考へられた所の子女を養育し、一家を整へる事は勿論經濟に產業に或は國防に、此等 へて居ながら西洋の個人主義世界觀に禍せられ、私利私益を先にし、公利公益を後にする傾向が可成 全體主義的世界觀の立場に立つて私利私益を後にし、 近頃近衞總理大臣の創唱によつて新體制運動即ち大政翼營運動なるものが計畫せられ、 皇道とか神ながら道とか謂はれるもので之れ即ち忠の道であります。 公利公益を先きにし、吾々日常の全生活 國家の皆様に要求する所は深く且つ廣いものが 質に神代 斯の 大 りに 政翼賛會なる組 を通じて國家に を通じて天業を 道は吾々は概念 より傳承し我 强かつた。

位につくこと、此等勿論結構ですけれども、 り取つて子供に持たせて歸るのもよく見る圖であり、電車や汽車の中で、泥の付いた靴裏を他の乗客の方に向けて窓外を ことを念願として子女を教養するのが新體制の教育であります。又例へば母親が子供を連れてハイキングに行つた際などに花を折 例 へば子を育てるにも、 も屢々見受け 又往々にして國家の利益を犠牲にしても構はないといふ風になり勝であります。此の考を棄て一意國家の御役 社會的に名譽ある地位につくことの意味に使はれて居つたのであります。富を得ること、 る圖でありますが、 親は子に偉くなれとか成功するやうとか申します。 これなど知らずくの間に子供に個人主義否自利的觀念を植付けて居るもので 誠に顰蹙 それが單に一身一家の利益幸福をのみ目的とする時、他人の迷惑を意とせず、 此の偉いとか成功と云ふ事が、 社會的 從來は富を得 に名譽、 眺めさせ に立てる 他人の ある地 て安樂

すべきことではありますまいか。

來の は すっ 0 長所美點を見出さんとするのが親である。 性の宿れるものとして大切に育て活用する事になります。 闘争の修羅場を現出して相共に亡びるのに對し、 神話 致の經 翁によりますと皇國の道は譲の道である。奪道は環境萬物を以て我の利用する爲の存在とし、 湾については特に私益と公益とを二分して利益の優先を主張し、 之を翁は報德と申しました。 此の 精神が具現される。 濟學を打樹てるのに努力された代表的な人は彼の有名な二宮尊德翁であります。 讓 の道が日常卑近な生活に於て最も典型的に行はれるのが親子の世界であります。 茲に人と人、人と自然、人と神との一圓融合が實現されるのであります。 此の報徳の立場に立てば人に對してばかりでなく、 此の親心を以て出來る丈長所美點を見出し、 護の道は己を空しうして萬物を生かし而も其の環境に依つて共 萬物は一 吾等國民と共に神の生めるもの所謂 徑濟と道德との分裂を來し易いのであります 之を愛育生長させることに 物に對しても人と同じく生 翁はこれを報徳の 如何に欠點の多 争つて我に利用 萬物同胞同 道と から 呼 根といふ我國古 い子でも尚其の 依つて萬物を生 に伸び行く道で せんとし、 命あるもの、 h 此の T 居 徑 りま 濟道

翁は此 の報徳の 道を實現する方法として、勤勞分度推讓の三つの基本方式を立てられました。

報酬を目的とした勞働力の消耗とし一種の商品として考へられのでありますが、 あり、目的であ 勞は凡て無から有を生み、木た成らざる處を成して行く人のはたらきであります。 り、其のまゝが徳行であり、 公益を廣める淨行であるのであります。 之に對し勤勞はそれ自身が人の人 然るに從來勞働は西洋流の たるはたらきで

びであり樂しみある。かくて吾等は最も能率的に魂を打込んだ仕事をなし得ると共に日常生活そのまゝが鍛錬とな と歡喜とを以 に依 面して て働くこれ 新體制 「天照大神の開闢 が新體 下の 吾々國民は一人でも安逸を貧る事は許されないのであつて、 下の吾々の生活でなければなりませ 0 を行 ふ」ものであります。 報徳の精神を以て其かれたる勤勞こそは其れ 男も女も悉くが一時間 でも り修 自身限 りない飲 感謝

分度には生産の分度と消費の分度とが有ります。 ふのは自己の天分使命を自覺して生活に基準を立てる事であります。分度が立たなければ折角の勤勞も 生産の分度は國家に役立つ自分の天分を考へ職業的乃至職 徒勞に終る事が 分的位置を確立

事業に投ずやうにすべきであります。 の爲であると同 爲め大なる働きをなす爲すのであります。例へは貯金をしたり國債を買つたり銃後の務を果す爲に使つたりするの は一面自己後世 は當然であります。これに依つて吝でもなく、奢でもなく、儉の道立つて生活は安泰となり、而も分外は自己後世 と名付け。残り四分の一を分外として自己及び兒孫の爲め並に公共の爲に讓るべしと言はれた。富者は分外を出來 す。かくてこそ職業が單に生計の爲のものでなく皇運扶翼の務たる意味を最もよく發揮し得るのであります。消費の分度 「分相應の暮し」に當るものであるが、より積極的である。翁は中流の家庭では大體四分の三を以て生計を立て、 其の仕事に参加する人や物をして其長所特長を最もよく發揮し得るやう經營乃至勤勞の工夫計畫をなすことでありま 時に他而國家奉公の一端となるのであります。更に餘裕のあるものは之を國家社會の教育とか社會事業とか其他の 之を分内の分度 の爲國家公共の る文多くすべき は 所謂

る所謂新體制の生活となる。全生活に私利私慾の臭が失せ、公明にして清く明く正しく强き香氣に、滿ちた生活となるのでありま 爲に非すして分外推讓をなす爲の、更に言へは皇運扶翼をなすに必要な身心を作る爲の消費といふ事になり、 推譲は分度による分外の推護に始まる。かくして譲の精神が益々擴充して行くならば、分内の消費即衣食の爲の消費も實は我が 全生 活が忠を表現す

なり、産業は即ち致育であり、経濟にいそしむ事はそのま、臣道の實践となるのであります。 分度推議は互に相關聯し而も報德の精神即ち皇國の道を以て一貫するのであります、 こゝに於て經濟即道德、二者 一體と

すの

せられんことを希望して御挨拶に代へる次第であります。 もなればと思ひ申上げた次第で有ります。どうぞ皆樣。新體制下の社會人として、又家庭の主婦として或は母として益々自重自愛 一宮尊徳先生の經濟道徳一元の經濟學の極大體であります。何だか大戀講釋めいて申譯ありませんが、多少でも御参考に

玉の御聲

宫

秩交宮殿下の詔書御奉讀の御聲を拜して。 今年六月十九日、橿原神宮神域に於ける紀元二千六百年奉祝祈瞽大會實况放送あり。畏くも御臨場の

天 常 玉 最 御 今 皇 若 か 敬 0 臨 陛 1= 壇 御 禮 場 F 6. 上 整 終 0 萬 ま 1= 4 b 樂 歲 す 出 か T 5 T 0 か 2 L 8 亡 1: 0 多 -> 5 3 H ٤ す 3 12 > L 3 5 \$ 2 ٤ 眼 3 5 U 鳴 六 1= 3 3 ま b 月 は 時 3 6. 4. 3 U 0 L n T 2 3 酮 3 な D ば 御 は 3 心 > 12 擊 n n 2 U あ 20 0 ば > 3 高 12 3 校 10 8 身 3 庭 2 ひ h 0 張 1= 青 ٤ 7. 感 b 立 L 眼 か 3 5 5 校 2 品 は ナニ T 庭 御 ち ŧ 息 U 0 沓 12 薬 n 1 0 0 け b 3 也 櫻 晉 b

追憶二十年

勤 續 表 彰 5 4 3 ٤ 起 0 n す 3 U 日 0 あ n これ 思へば うつ ンとも な 3

5

汀

若 は お 10 あ か b b 3 b 八 0 3 n 3 す 力: > 0 + 2 17 h 0 力多 H re 5 3. 前 年 1 3 身 は 3 L な 緣 12 3 > 會 n 2 2 0 T カン 0 0 3 お 2 10 > 2 3 悔 E 老 カン 6 3 4. なな 人 心 2 10 0 4. 1 背 2. ~ Si 高 娘 1 0 > 知 10 カン ば 3 30 U は ٤ 念 3 12 あ 3 L b 黃 TI ~ あ ~ は 願 な な え 6 b む 67 1= 6 敎 3 あ 9 10 U D U 3 は ね 母 \$ 2 す 5 U 3 誰 相 日 ^ 2 3 寄 あ 0 n ~ 吾 L 0 Ł 彼 0 2 20 23 多 W 1 教 7 子 年 0 n 75 月 · # ~ Ł n 0 今 ば を 3 3 3 0 10 來 3 子 年 前 先 む L h 1 10 長 L かっ П 生 か L L 等 2 1 3 ょ 12 遠 -U T b 3 b L 20 4 2 8 b \$ b 思 力 10 n な 條 \$ あ 言 惠 から 杏 0 V 0 n ~ 1= す 5 ば は ٤ 0 5 Z. 3 道 お 3 3 82 8 -老 な た た 0 け は 時 L 落 な 12 h 日 2 2 U 人 6. 5 悲 7 を 短 よ あ 0 1 あ 0 知 L K 3 お 3 U 3 3 E 聖 b 3 V 2 6 2 母 8 8 8 p: W re 3 か 5 L 3 à 8 お 8 1-な 40 5 h L b な 思 な な 8 5 b b à U 3 3 む 3 Da L 2



恩師の御消息

名古屋だより

さんか久振りに、 の方便かと思はれ、 仰付かつて、 T, U い様です。 はあるが、 かつた。 夏の暑いことは、 比較の取れない為でせう。 今年は特に暑い様に感ぜられる。前年の温度か記録され 然し老生相變らす無事です。當時は町の仕事を澤山 身に沁みた感しか、一年後の今日、 毎日汗を流して働いて居ます、 名古屋西區田幡町八四 御訪ね下さつて色々尾道の話を承り、 毎年極つて居るにかゝはらず、 老後の御奉公に努めて居ます。先般小松房 實際都會地は、 (客員) 杉野三次郎 是れか却つて銷暑 田舎より餘程 全く忘 來 n 3 大變嬉 5 年 每 T

名古屋は年々人口か増加して、此頃は百四十萬に達しまし

拙宅に御宿り下さつて、 たか 潛めました、 行動を起して來た結果、 5 滑に行かず、 は相當活發です、何分とも一大消費地だから、 學校を毎年五校位宛新築せねばならぬ。 施されて、 毎年約十萬近くつゝ増加するには驚かされます。それで小 南京米や麥飯計り食ふて居ます。 目 困るものも多かつたが、 下は全く工業化してしまひました。 市民も稍々安堵しました。此頃は贅澤殷 頗る結構と思は 昨年來家庭必需品か窮屈になり、 市内の社會狀勢でも御覽下さい。 ハイカラ連中は皆面喰つて、 n 30 昨今は統制され配給制度が實 皆様よ上京の序もあれ 野菜魚類肉類等か相當暴 以前は商業都市であ 從つて經濟の動 節米の 物資の配給が圓 稍々影を 止か直接 關係 は、

福山市御船町一番地(客員)佐藤良都知

(科復御懐しき御手紙を戴き有難く御禮申上げます會員御一同様には益々御清榮の御事と存じ御悦び申上げます私事三十五ケ様の数員生活を退き郷里に餘生を養ふで居ります幸に身體强肚で此非常時に際し少しにても御役に立つ事もと心掛けて居る程で地産います

如く驚かれます 二男新瀉醫大に在學中 三男の母となり 長男は先年來陸軍々醫學校口腔外科に勤務 つた事は自分にはわかり兼ねますが子供の成長を見て今更らの は膝下で家事にいそしみ中 三女常市縣女に在學中です 年老 家族 一同無事で暮して居ります長女は他に嫁し今は早や二女 二女本年三月東京女子專門學校卒業今

もなき次第で御座います 貴校に在職十三年…長き間の事ども懷舊の情湧き出で止めど

皆様の御多幸を御祈り致します

(容員) 渡 邊 豐 市

御無沙汰致しました

しましてお詫に代へます 毛頭ありませんが用紙をむだにせぬため感想の一つをお送り致 既に期限も過ぎたことでせうから會報にのせていたゞく氣は 近况報告氣にかゝりながら後れましてすみません

めて居りますから乍他事安心下さいませ 漸く秋風がおとづれ暑がり性の私には蘇生の喜びで元氣に勤

> 尤もらしい理窟はつけられるものです。 の理はあると申しますが、我儘勝手を振舞ひながらも、 句なしに突進出來ることはありがたいことです。泥棒にも三分 新體制が確立して、皇國民の向ふべきところが明示され、文

カー がない。本當に實行にまで推し進めるものは、理窟以上の或る したのだと言ひますが、これではまだ何だか物足りない。 この間、親しくして居る知人の子供が來て泊りました。明日 理窟を聞いて、なる程とうなづくことが、納得出來た、 -信念と申しますか――がなくてはならぬと思ひます。 生命 理解

はみんなで宮島様に詣らうといふので。 「おゝ、おやすみ。だが駿坊、 「をぢさんおやすみ」朗かに蚊帳にもぐりました。 お前便所の草履の向きが違つ

てゐたよ。」

ここまでは無難、その次が失敗だつたのです。

ものだよ。」するとたちどころに 「便所の草履はね、次の人が行くのに都合のよいやうにぬぐ

ね。山 したたかお面を一本打ち込まれた形です、なまいき言ふな。 うん、 をちさん、戸を開けつばなしにしておいた方が便利

この年して初めて致へられたのでした。

(客員) 三 橋 六 次 郎

か釣 阿 り関子」で唯今の處温室は仙人掌に野菜の同居です、 足を建てゝ居ますが工場が多くなつて鮒も居ず黒鯛もたまにし **藤様と諸物價高値と來て居ますから此頃では生鮮野菜の自給自** いとか言ひますね、私もいつ迄も娑婆ふさぎでもあるまいから 老人を何等かの方法で清算することですね、「生めよ殖やせ ル飯を食べて居ます、節米の徹底的な方法としては還曆以上の す。經濟統制とやらで外米七割に麥一割內地米が二割のカクテ よ」で御趣意を体して私共でも此の三月に初孫が出來ました、 御校の發展に引換へて私などは日に月に沒落して行くの (盛男ちやん) 癇陀像のお來迎を待ちたいですが此分ではねー、聖戰以來お 叉 れず鶏糞と水肥だけでは、菜つ葉も碌に出來ません、 お便りしようとは思はなかつたが矢張「命なり」ですね、 可愛いもんですね、 向脛の痛さと共に忘られな みで

「高木風多し」つて、まさか……左様ならで高木風多し」つて、まさか……左様ならで高木風多し」つて、まさか……左様ならで高木風多し」つて、まさか……左様なら

(客員) 秋山 幹

・ は三年とは申すものの、金卸の學生服から初めて育廣と言ふものを着て、初めて「先生」とよばれたのは御校に於てであるのを着て、初めて「先生」とよばれたのは御校に於てである。

と存じます。皆様何卒御体をお大事に、共々御國の爲に働きまと存じます。皆様何卒御体をお大事に、共々御國の爲に働きま以來一度も御地を踏みませんが、御校もさぞ立派になつた事

た皆様の御厚意を戴く事が出來ましたのは何とも嬉しい極みで

客員 溝 Ŀ. 茂 夫

拜復

浦曙會よりのお手紙を衷心感謝してゐます。

招か が、其の機熟し、 度く希つて居ります。 4-傳統 鎌ね~ 師範教育に於ける一通りの任務を果した後は古く高 れて北星女學校に参りました。 に棹さした宗教 此の春長岡女子師範附屬小學校主事を退き、 々育に從事するの希望を持つてゐました 或は此の處に生涯をさいげ

忘れ 僅か 得ない懐しさを覺 ケ年の生活でしたが尾道高女、 へますっ 尾道の町、 海等は到底

御校の發展、 皆様の御健康を祈ります。

北星女學校にて

溝

上

茂

夫

石 JII 3 力

て居りますから他事ながら御放念下さい扨私は長い間御地を懐 り時が來たのでせうか昨年から二度もお立寄り申して昔に增し しみながらもどうしても参る機會を惠まれませんでしたがやは お過しの事とお喜び申上げます次に私もお蔭様で無事日を送つ 印見舞有難く存じます皆様もお障りなくお元氣に此夏を

御座います。

ました今年五月には廣島にもお寄りして其所の數人の方々とゆ 通るわけにはゆかず御迷惑かとも思ひ乍ら何時も御厄介になり ります何かの用事があつてそれに参る折には必ず尾道を默つて 彼からの優しいお言葉を聞いたりして私は何と幸福にらうとつ に來たと思つて宅に泊つて遺はさい」と昔の教へ子であつた誰 小宴(?)は忘れる事の出來ない樂しいものでした。 つくり一日を過しました、 くんく思ひました。私の長女は今長崎に次女は奉天に嫁いて居 へ致しまして昨年尾道の待帆莊での集ひに劣らず今年の岩惣の 何時 も岡田先生の益々御元氣な御容子に接し しかもそれこそ待望の宮島詣でをさ お互に 「娘の家

つの覺悟をしつ、此次の御面會を待ちませう皆樣御機嫌よう。 せずには居られません。暑い時に暑さに負けず辛い時辛さに克 樂しさを覺えます殊に銃後の護りとして活動せらるゝには感謝 ある御生活をして居らる、 それから皆様が夫々立派に家庭人として又社會人として意義 有様を見ては云ふに云はれぬ嬉 しさ

れが先づ何よりの仕合せと感謝の日々を送つて居ります。な材料を持ち合せません只年はとつても幸に身體至つて頑健こな材料を持ち合せません只年はとつても幸に身體至つて頑健これが先づ何よりの社会せと感謝の祖にれる中し上げるやう

私も御地に在る頃は至つて旅行好きで暇さへあればあちらこれも御地に在る頃は至つて旅行好きで暇さへあればあちらこれたしたのが私にとつての近頃での大旅行と申すべきでその際いたしたのが私にとつての近頃での大旅行と申すべきでその際でをかました。それ以外は鬼角家にのみ引き籠つて居りますので生活も自然平凡になりがちです。

に貴會の將來益々御隆昌ならんことを御祈りいたします。 御校も當時とは見違へる程立派になられし事と存じます。終り 何時も何かにつけ御地に在りし昔を偲んで居ります。 定めし

> 程啓その後は誠に御無沙汰を申上けて居ります、會長殿をは はなる常方御蔭を以て頑健日々を多忙の裡に過してをります年 ます。常方御蔭を以て頑健日々を多忙の裡に過してをります年 はなる神下さいませ。

試練かとぞんじます。
各位には新体制に向つて物の統制その他について少なからず

制を見ることゝぞんじます。

延引ながらつゝしみて御挨拶卓上けます。 御身体を御天切に邦家の爲御活動の程を御祈り申上ます。先は御身体を御天切に邦家の爲御活動の程を御祈り申上ます。先は一個身体を御天切に邦家の爲御活動の程を御祈り申上ます。

會員各位 御中

敬

母校諸先生の横顔

芋 人 子

> 賜。近頃名仲人として名聲を博してゐられます。多い日には 少くとも五人位は聽き合せの人が押寄せてゐる樣です。之を うまくおまるめになるのは一は以て先生の御人格の致す所と 雖も矢張コツでせうな。御用の方はどし~~御利用否御賴み なさいませ。御利益必定。先生の御敎育振は一校舎に止らず 常にかうした所迄念願されてゐます。

久米壽三郎先生除りお上手のない事と少し左肩を上げて御歩きになる事とに變りのないと同時に溫容を以て常に孤々として 手入れに鬼の飼料に寧日なき御精進振り。先生ならではと頭が下りますの。でも先日の運動會の職員競走に脱線なさつたが下りますの。でも先日の運動會の職員競走に脱線なさつたのは一寸玉に庇。

中尾松平先生明日の天候と戦争の見透しなら尋ねて 御覧 な さ中尾松平先生明日の天候と戦争の見透しなら尋ねて 御覧 な さ で歸られました毎日部員の指導に道場へ通つてゐられます。 四 その爲先生を「ブドー棚」と生徒が云つてもニツコリ笑はれる文の腹がお出來の樣です。

小土井保先生「毎年新入生が岡本先生と間違へて掃除を告げに来る者が三四人はあるさうですね」と尋ねると、さう云つた事は子供の認識不足とソツと逃げられるあたり否定はなさらぬらしい。或人曰く「先生は逢ふ度にお若く見える」と、蓋し穿てりと云ふべし。高級な諧謔と老練な御教授振りは感服の外なく殊に給品部長としての竦腕振りは商人も泣いてゐま

は田整先生、校内切つてのお顔の色の良い先生と云ったら三 大名には八百の生徒はおろか猫犬も戦く も響くあの凛々しい號令には八百の生徒はおろか猫犬も戦く も響くあの凛々しい號令には八百の生徒はおろか猫犬も戦く

す。

森田晴夫先生北は北海道南は九州と轉じられてゐられる丈に甘むの利かぬ先生。と云つたらお年寄の様ですがつひ昨年新婦をお迎へ遊ばした許り教育勅語宛然の實践にお努めなさつてるます。噂の噂には近々愈々御目度とか。

産。生徒の難物數學の先生丈あつて此方面では大層恐がられ山崎一先生瑠璃山麓に呱々の聲をおあげになつた 純 粹の 尾道

華燭の典を舉げられました。

森原傳先生本年四月朝鮮から御藝任遊ばした物化の先生と云へば遠國の方の様ですが福山の御出身です「森原先生は嬉しい様な顔付で何時も教へてぢやん。よう解るがのう」と生徒が話してゐたのを聞いた事がありやんす。外米と内地米の榮養話してゐたのを聞いた事がありやんす。外米と内地米の榮養元からと生活に即した熱心な御教授振りに生徒は多大の興味と學究心を湧かしとりやんす。

平山日出男先生、東仕込みの先生ですが尾道に來られてすつか の色黒くなられました。 廢品蒐集主任として月月何十圓と云 は修身公民ですの昨年御結婚遊ばしました。 奥様の拔毛一本 でも御粗末にはなさらぬとか。

林昇一先生本年九月奈良縣吉野林業學校から御赴任溫厚篤實なおめつたに大きな聲もなさいませぬ講讀を御受持でいらつしやいます。

岡本好太郎先生御つむり愈御艷かに渉らせられ御元氣で毎日岩

子島から御通勤です娘過剰の折柄此先生も亦仲人報國を なさ

す。何分宜敷との御事です。

意永秀輔先生滿二ケ年間聖戰に御參加昨年十月目出度御歸還ながよく聞いて見ると「この非常時局にニヤ/〜愛嬌が出せるがよく聞いて見ると「この非常時局にニヤ/〜愛嬌が出せる

すが餘程御快癒なので不日御出勤遊ばされる由です。あなさいました。その爲か此程胃を御病みになり御缺勤中であなさいました。その爲か此程胃を御病みになり御缺勤中で

堀部政代先生 母校きつての最古参 それ丈に皆様にはなくてはならぬ先生 何でもやりての先生ですが未だに 御子 様 丈はならぬ先生 何でもやりての先生ですが未だに 御子 様 丈

して界隈に知らぬ者はありません。偏食の矯正献立にさては来になつてからよけいに御元氣の御様子。 業養献立の権威と本になつてからよけいに御元氣の御様子。 昨年御孫さんが御出

つてゐます。 非常時局下の經濟料理と寧日なき御活躍振には皆樣感謝なさ

りて何くれと御世話なさつてゐます。 を対して何くれと御世話なさつてゐます。

落付を見せていらつしやいます。
なりを見せていらつしやいます。

土居早子先生今川フミ先生御二方とも揃つて此程知らぬ間に御を賀至極。さりとは云へ凛々しい土居先生の運動姿今川先生慶賀至極。さりとは云へ凛々しい土居先生の運動姿今川先生のお優しい御教授振の永久に拜見出來ぬのは實に淋しい氣が

(外江)一枝先生堀部先生の後釜名舎監として一百の舎生から慈 ました許り。

原からいそがしさうに御通勤なさつてゐます。 増富やさしい御教授振を發揮していらつしやいます。 原からいそがしさうに御通勤なさつてゐます。

小川房枝先生大辻菊枝先生御二人方とも現代女性の典型的御身

長の所持者です。何れもまだ御獨身でゐらつしやいます。 長の所持者です。何れもまだ御獨身でゐらつしやいます。 藤田亀六先生毛一本の末にいたる迄生き甲斐を感じさせて生や 東の天草の詩趣さながらのお髭の持主、鶴園先生はゆかしい 書添を以て常に皆を爆笑させて下さいます。



二回卒業生

第

堀 江 貞 子

交響法り難うございますが母校の皆々様並に諸姉様方には御 をは京都樂學専門學校に通學致して居ます小供と親子三人平和 に過して居ります故御安心下さいませ御上京の節は是非御立寄 下さいます様御待ち申して居ります尚何卒今後共諸姉様方の御 指導を御願ひ致して居ます本年は皇紀二千六百年紀念號が出ま が出ますなります。 では京都樂學専門學校に通學致して居ます小供と親子三人平和 に過して居ります故御安心下さいませ御上京の節は是非御立寄 でさいます様御待ち申して居ります尚何卒今後共諸姉様方の御 残暑去り難うございますが母校の皆々様並に諸姉様方には御

た姿をうれしく感じた次第です。
ちますいつか校門の前迄散步がてら伺つてすつかり立派になった姿をうれしく感じた次第です。

繁 田 千 代

皇紀二千六百年聖戰茲に四年を迎へました母校は益隆昌に向ひ「吾等も銃後の一兵士」の標語の元に銃後の固めいや固く諸をます長男太郎が本年四月皇國勇士として廣島に入營榮ある感きます長男太郎が本年四月皇國勇士として廣島に入營榮ある感きます長男太郎が本年四月皇國勇士として廣島に入營榮ある感きます長男太郎が本年四月皇國勇士として廣島に入營榮ある感きは中支○○方面に活躍致して居ります軍國の母としてうれしき事の數々紙面の都合で署します次男二郎も日頃の念願かなつて高知高等學校に入學を許可されましたこれも又私のメモを飾る一事でございますがお蔭様で大變達者で時局に應じてモンへ姿勇ましく活動致して居ります。

山根零子

八月の聲を聞て大分原しくなつて來ました早く御便り差出答の所丁度主人が内地勤務となりましたので取紛延引致しました本年は皇紀二千六百年の紀念にもあたりますので久々に近况申上げます長男は立大の本科一年生で中が専門學校末が中學の二年生ですこんなわけで日々忙しく暮して居ます上非常時下の國婦の御仕事を手傳でゐますので多忙に明暮過して居ますお蔭様の御仕事を手傳でゐますので多忙に明暮過して居ますお蔭様がつもお懐かしく存じて居りますものゝゆつくりお目もじ致す事も得ません其內是非一度お寄り致し度いと願つて居ます末筆事も得ません其內是非一度お寄り致し度いと願つて居ます末筆

大藪はな

た彼があまりにもはかなく逝でしまひましたので夢の様な心地 もで素人一倍に健康に惠れあらゆるスポーツに組して居りました病にて次男健次が急逝致しまして殊に哀愁に暮れて居りま 誌御編輯の趣承りうれしく存じて居りました矢先私方にはふと 誌の編輯の趣承りうれしく存じて居りました矢先私方にはふと

び致します級友の皆様方よりも大變情まれ彼の過去を種々綴つて小雑誌を作つて下さいました。然し取返のつかぬ現實なのでございます享年二十一歳儲西學院大學法文科二年生にてあと暫しませて居ました昨今では定められたる因緣ごととあきらめてしませて居ました昨今では定められたる因緣ごととあきらめてしませて居ました昨今では定められたる因緣ごととあきらめて日々冥福を祈て居ります。

八月中旬井口八重子様が御里へ御逗留になりました昨年も御見えになりましたけれど生憎御母堂御病氣の御看護にて御遠慮申上げて居りましたが本年は御夫婦揃つての事とてゆつくりなさいました大變お氣樂な生活で近くにお住のお孫様のお相手をなさました大變お氣樂な生活で近くにお住のお孫様のお相手をなさいますお孫様は坊様二人に嬢様一人と云ふお跳への様でこざいます。

二日大手術を受けられました幸に御經過良く日日御全快に向つられましたのに井口様と御一諸にお伺ひ致しましたら出逢頭に目に一抔涙を浮べられましたので只事でないと直感致しました当ましたが去月十一次女子様春方石川先生を歡迎致した節は大變御氣色良く居

り申上げて居ます。

出た續きです
一大曾エイ様皆様御元氣で長女達子様は今春御卒業直に洋裁に御精進東京のドレスメーカー學院に御在學三女明惠様も又今春御特進東京のドレスメーカー學院に御在學三女明惠様も又今春御村進東京のドレスメーカー學院に御在學三女明惠様も又今春の村上統書です。

74.6

第三回卒業生

江川 (清水) 壽代樣

少しも身体がお弱いやうでいらつしやいます。 遊ばしてゐられますので今にお元氣な日々をお迎へになられま 遊ばしてゐられますので今にお元氣な日々をお迎へになられま

第五回卒業生

(小四) 奥野 靜子

有難う存じました色々お世話様の御事とお禮申上ます私共お蔭このお暑さにも御障りもなくいらせられますか先日はお便り

様で家内中丈夫で過して居ります長女は四年十七長男十五高師様で家内中丈夫で過して居ります一家元氣で心を合せて非常時を乗越えるやう心致して居ります先は御返事まで。

(河野) 河 野 絹 衣

恵まれて居ります事を感謝致して居ります以下略 恵まれて居ります事を感謝致して居ります以下略 恵まれて居ります事を感謝致して居ります以下略 恵まれて居ります事を感謝致して居りますなうしました事 あのになるのでは御座いませんでせうかと存じます幸の健康に ものになるのでは御座いませんでせうかと存じます幸の健康に ものになるのでは御座いませんでせうかと存じます幸の健康に

(原) 矢 野 歌 子

校に進み長男は廣島幼年學校の三年に次男は中學三年にとそれらせて頂いて居ります。長女は今春女學校を終へまして專門學的略當方もも蔭様にて家内一同健康に惠まれて幸福に日を送

日も早からん事を祈り樂しみに致して居ります以下略日も早からん事を祈り樂しみに致して居ります。長男の國家に御奉公出來ます日の一

加藤靜枝

朝夕母校を眺めて暮す位置に假寓を持ち乍ら御無沙汰勝の自発を顧みて遠い皆様方の御便りの少ないのを託つのが無理とは分を顧みて遠い皆様方の御便りの少ないのを託つのが無理とははおそい一人子の中學入試の心配も体験しましたし平凡に馴れた私には隨分と堪え難い昨今ではありますが幸ひ一家健康に惠まれ同窓の方方の銃後の目醒しい御活躍を感謝してせめて國策を順應した自粛生活をと堅張した毎日を過して居ります。

第六回卒業生

行版キミョ

御盡力をいつも感謝致して居ります私も銃后國民として先づ健が心を合せていゝ紀念號を作りたいものと存じます幹事様方のが心を合せていゝ紀念號を作りたいものと存じます幹事様方のなった。

命保險會社の善良な勸誘員として優秀社員たらんことを願ひつたので思ひ切つて街頭に出て本年から働いて居ります。日本生康に働いてをります。長男が中學四年、長女が尊三になりまし

况御報告までに一筆認めました。御健康を祈り上けます。 同窓の皆様にも何卒御契約下さいますやう御願ひ致します近

第八回卒業生

大塚英

T

はなつかしく思出して出ますがなか (お會ひする時のないもはなつかしく思出して居ますがなか (お會ひする時のないもはなつかしく思出して居ますがなか (お會ひする時のないもないますよ五月でしたか三浦様に福山驛でちらとお目にかゝりました私もお蔭で丈夫に一昨年秋から主人が福山陸軍病院に務めて居ますので女醫先生を頭に看護婦子供を相手にかなり忙しい一日をくりかへして居ます今年の春には娘に赤ちやんが出来したのでおばあちやんになりましたのよ孫つてほんとに可愛

で樂しい日をお過しの程耐り上げます。

(中司) 小橋 キョ

前略お蔭様で私達も變りなく子供も壯健に成長し早くも長女は女學校三年生長男は小學校五年になりました今年は紀元二千六百年に當りますので神武天皇の御聖跡を偲ばせて頂きました六百年に當りますのかけ持ちにて大變忙しい生活を致して居

(部谷) 間 江 富 子

時變下酷暑の折柄諸先生初め御同窓の皆々様にはお變りなくお暮しの事と存じます過日はお懐かしいお便り戴き今更ながら男一女の母として專心家事に教育に邁進して居りますお蔭様にて家内一同先づ健康にて銃後の一員として報國の念に燃えつるを表して居ります。

(池田) 沖 森 すみ子

お暑き厳しき折衲皆様には御變りなくおすごしでいらつしや

都大阪の同窓の方にお目にかゝりたいと思つて居ります。後略してゐます京都に二十分位で行ける所へおちつきましたから京してゐます京都に二十分位で行ける所へおちつきましたから京

(杉原) 二 五 嘉 子

御健在と御多幸を祈らせて頂きます主人の轉動により十六年 御健在と御多幸を祈らせて頂きます主人の轉動により十六年

(高橋) 渡 邊 秀 子

の高田様栗野様や他の二三人の同窓の方々と時々集り笑つたりに二人の子供を連れて留守宅を守つてゐます長谷川先生同級生宅が轉々と變り唯今は東京に落付いて居ります相變らず朗らか二十年間の御無沙汰を會報を以てお詫び申上げます卒業後住

過して居ります先生方はじめ同窓生の皆様の御健康を祈りま 話したりで過させて敵ける一時を嬉しく有難く存じ感謝の日を

す。

第八回三浦 御出征遊ばしていらつしやいました御主人様も無事御歸還に (桑原) 英子樣

なられお子様方のレンお母様として多幸な日々を送つていらつ

九 回 卒

第

m 1 子

話係となり及ばず年ら働いてをります。 も中學、 多の方面に御活躍遊ばして居らつしやいます事と存じます。私 ぞかし皆様には堅實な御家庭を御建造の上銃後の女性として幾 として物資不足の浪を恙がなく乗り切り度いため町會の物資世 同期の皆様お別れ致しまして今年は丁度廿年目となりますさ 女學、小學と三人の子供の至らぬ母ながら銃後の一員

同窓の皆々様には何時も御機嫌よくゐられます事とお喜び申 口 末 子

濱



(生業卒回九第) ひ集の賀祝年十二續勤生先兩部堀・井今

上げます私はお蔭様で上京以來十四年平和な月日を送らせてい

ります。ります。

遙に皆様の御多幸をお祈り申上げます。

形初于

Ш

でどんなに心强いかわかりません本年五月に三年ぶりにクラス ます私共もたまく母校に参りましても兩先生がお出下さるの 部 T 共 ります。母校にも四月に小川新校長先生をお迎へ致しまして益 すので紙上にてお目にかゝる事の出來ます事を嬉しく存じてお 20 お 一兩先生も昔に變らぬお若さで教育に專念をしてゐらつしやい モンベ姿も勇しく勤勞奉仕作業も出來てをります、今井、 にお喜び申上げる次第でございます私共の時代とは違ひまし 隆盛に内容外観共に立派な母校になつて居ります事を皆様と 何ひ申上げます本年は紀元二千六百年記念號御發行になりま .窓の皆様方には御機嫌よろしくお過しでゐらつしやいますか も漸やく深く朝夕はそどろ寒さを感じる頃と相成りました 堀

は母校へお立寄り下さいまして立派な姿を御覽下さいませ。 御健在にて御多幸な日々をお過しなさります様又御來尾の節に い緊張した生活を過してゐらつしやる事と存じます。この上共 又母として時局の波を切りぬけ國策に協力し職時下の國民らし と張り切つてをります、クラスの皆様方も一家の主婦として、 給等世の中もむづかしくなりましても今の場合不足等中されま 自 女母校二年次女母校一年と二人までお世話になつております。 年四月十五日主人を戰地に送り武運長久を祈りつゝ三人の子供 Ш 會を開催致しました、兩先生をお迎へ致して四十に手の届きさ せんどんな難儀にも打勝つて、お國のために働かせて頂かねば 深い事だと思つております。聖戰四年登澤廢止物資の統制 の成長を樂しみに家業にはげんで居ります長男は中學校四年長 散、北村、高橋様を驛迄お見送りしてお分れ致しました、私も本 に返り女學生氣分を出して、時間の過ぎるのも忘れ八時過ぎ解 の方々は中前、佐久間、小山、藤原、 うな自分の年も打忘れて半日をとても愉快に過しました。 ボールの盛んな話、 分の學んだ教室で再び子供が學んであるのもよくへ 下様と私の都合十一名あの榜に赤緒の下駄ばき姿、フット 堀部先生の赤毛布の話と思ひは二十年の昔 惠谷、秋田、田中、庸子 出 移の 席

寒さに向ひます故お大切に遊しませ。

第十回卒業生

(安保) 中谷コッル

御様子まで。

先日はお便りありがとう存じました貴女様にも御きげんおよろしく母校のためにお働き下さいます御様子何よりとお喜び申及として毎日忙しく暮して居りますでもすく/~と伸び行く子母として毎日忙しく暮して居りますでもすく/~と伸び行く子母との変展をお祈り申上げます。

二伸御面倒ながら會費お送りいたしましたからお取計の下さ

日野乙江

(集) はいる。 (本) はいる。 (本) はいる。 (本) はいる。 (な) はいる。 (

(佐藤) 佐藤延子

前略私も今夏歸國久しぶりに皆樣達にお目にかいれますのを

本當に残念に思ひますが歸國はあるらめましたでは取急ぎ一寸長途の旅行はだめで今夏丈けは近くの山へでもつれて行きます樂しみにしてゐましたが長男の病氣で今日まで入院致しとても

(坪島辰子)

古

昌

子

年一度のクラス會に尾道在住の方々とはいつも樂しい會合を致して居ります異郷に在す同窓の皆様いかゞお暮しでございますかたのしかりし女學生時代を思ひつゝペンを走らせて居りますの教育に又公職にある主人に代り店員和手に商舗の主婦として多忙な日日に精進致して居ります。

浅雛イクョ) 成生イクョ

本年女學校に入學する長女の勉強の相手も中々思ふに任せませ、本年女學校に入學する長女の勉強の相手も中々思ふに任せませ、本年女學校に入學する長女の勉強の相手も中々思ふに任せませ、本年女學校に入學する長女の勉強の相手も中々思ふに任せませ、本語の一次の子の母として毎日忙がしく新聞に目を通す位が關の山で本書は御無沙汰のみ致しまして中譯けございません橿原の建

す

イキングに出かけます。

(桑田) 永 井 す ま 子

ざいます伊勢路へお出かけの節はお立寄り下さいませ。 す。名古屋へは同窓の方がございませんので本當にさびしうご 生の女兒五歳の女元二歳の長男と益々多忙な日を送つて居りま 元二千六百年で幹事の方々も報導員として御骨折りの事と感謝 致します。私も制限された程度内で申上げます三年の女兒一年 同窓の皆樣時局柄多方面へ御多忙の事と存じます。今年は紀

(原田) 木 歲 子

送局の 况お知らせいたします。 何とぞお聞き下さいまちがつてもお笑ひ下さいますな。一寸近 先日はお便りありがとうございましたさて來る廿二日廣島放 命によりまして正午の時五分甲山小唱を放送しますから

(梶山) 瀧 不 里 f

ネホ 諸先生方に心から感謝を捧げ御健在をお祈りいたします。 ます誰でも自分の今してゐる事に愉快がられないものらしいの の話をするととても愉快でのん気でロマンチックだと美しがり ましたサバーした氣持です只今小供五人上の二人は夕陽ケ丘 お喜びを一言申上げたいのですけれど……子供達へ學校時代 ました事を承り遙々御恙のあらせられぬ様祈り上げて居ります さに驚き且よろこんでゐます秋山先生が大變な御重職に就かれ へ御厄介になり一色先生に受持つていたざいてゐます御緣の深 よく見切りをつけてこの二千六百年を期して病にヒマを出 こゝ四五年前腎臓にかゝり以來養生の生活をしてゐましたがい 人づつのお顔をのせて行つて一人なつかしく思つてゐます私事 たらといつも考へて見る事です五十音順にお名前を云ふては あの頃のまゝの心で皆様とたつた一度でいゝからお會ひ出來 、1皆様元氣に愉快にこれからの年々も迎えて送りませう

1:

第十一回卒業生

(三上) 松 本 艷 子

妻くなりましたが母校の校長先生初め諸先生には御元氣です。 私も五人の子持です。 と昔を想ひ出しては會報を出して見て居りま す。私も五人の子持です。

長男府立中學校一年生長女は六年生、二男は一年生次女は四年生三男は二歳とても大變です子供の世話だけでも一日用事がありますに店の方も見なければならないし休が二つあつても足りない程です貧乏忙しい事で此頃の様に物價高ではナカーへやりにくゝて困つて居りますでは久振りに尾道にて海水浴でもさせてやりたいと思つて居りましたが未だに其の時期が來でもさせてやりたいと思つて居りましたが未だに其の時期が來

七月末に字坪様御上阪下さいました尾道の様子を承りなつかしくなりました。皆様よい御母様振りのよし安心いたしまし

なりました。市内では緑の木を見ると云つてもあまりないし時たりの京竹桃を見てゐた時を思ひ出して泪の出る稈なつかしくたりの京竹桃を見てゐた時を思ひ出して泪の出る稈なつかしく

★郊外へ子供をつれて遊びに出る位の事です都會は夜だけ田舎より凉しい様に思ひます川が多いし橋も多いので子供は喜こんで川へ行きたがります。大阪に御こしの時は必ず御立寄り下さな情ない辛い思ひもいたしますが、これも皆試練と思つて强いな情ない辛い思ひもいたしますが、これも皆試練と思つて强いにて御會ひして御様子を承るのがどんなに樂しみな事でせう。字坪様多田様山本様何卒母校のために御つくし下さる様に切字坪様多田様山本様何卒母校のために御つくし下さる様に切って輝願ひいたします。

終りに望みまして校長先生今井先生諸先生の御健康を祈りま

(山本) 青木秀子

りの御歸鄕を幸に堀部先生、山形様、宇坪様とクラス會をいた が世話やら、家事、その暇には趣味の集ひやらと毎日を多忙に がして居ります。有難いことに學生時代の病弱さもなく元氣 に働かして就いて居ります。今夏舊姓高垣様、原田様の久方振

しました。高垣様には十七年振りにお逢ひ致しました。四人のいゝお母様になられお子供の教育にとても熱心であらつしやいます。みんな昔の生徒にかへりたのしい一刻をすごしました。私共尾道に居ります者はクラスの方々の御歸郷をたのしんでお私共尾道に居ります者はクラスの方々の御歸郷をたのしんでおれてさいまして今井先生字坪様山形様とつきぬ語ひを致したづね下さいまして今井先生字坪様山形様とつきぬ語ひを致したづね下さいまして今井先生字坪様山形様とつきぬ語ひを致し

(北川) 宮澤 勝代

ません。とても氣樂で御座います。 定分研究して日本婦人にびません。とても氣樂で御座います。 おきないませば十八の女學校卒業したばかりの乙女と一諸に中年の婦人が皆勉強して居りますから、田舍のやうな事は御座い年の婦人が皆勉強して居りますから、田舎のやうな事は御座い年の婦人が皆勉強して居りますから、田舎のやうな事は御座いません。とても氣樂で御座います。 充分研究して日本婦人にびません。とても氣樂で御座います。 充分研究して日本婦人にびません。とても氣樂で御座います。 充分研究して日本婦人にびません。とても氣樂で御座います。 充分研究して日本婦人にびません。とても氣樂で御座います。 充分研究して日本婦人にびません。とても氣樂で御座います。 充分研究して日本婦人にびません。とても氣樂で御座います。 充分研究して日本婦人にびません。とても氣樂で御座います。 充分研究して日本婦人にびません。とでも氣樂で御座います。 たか研究して日本婦人にびません。とでも氣樂で御座います。 おおびの先生を始め同窓の皆

つたりと似つく洋装を見出し度いと存じます。

昨年秋林さんが漢口の一番乗をして大阪へ飛行機で歸つて朝日ビルで講演が御座いました時、久々で御目にかっりました。 とても御忙しいやうでした。日本一流の者を出した母校の諸先生はさぞ御滿足の事と存じます。もう私等の教へていたゞいた生はさぞ御滿足の事と存じます。もう私等の教へていたゞいた生はさぞ御滿足の事と存じます。もう私等の教へていたゞいた生はさぞ御滿足の事と存じます。もう私等の教へていたゞいた生がじつと見てゐらつしやいますので、私も思はずあらつと先生がじつと見てゐらつしやいますので、私も思はずあらつと先生がじつと見てゐらつしやいますのであるともお變りになつていらつ承りましたが、とても御元氣でちつともお變りになつていらつかいませんでした。神戸の平野に御勤めあそばすやうに思つた事で御座いました。神戸の平野に御勤めあそばすやうに思つた事で御座いました。神戸の平野に御勤めあそばすやうにありましたが、とても御元氣でちつともお變りになつていらつかいませんでした。

に 。
こちらへお越しの砌にはどうぞ御寄り下さいませ皆樣をなつ

(丸山) 織田よし子

た節はとう~~住所の變更も申上げす失禮いたしました。今春話様になりまして御禮申上ます。三重縣から大分縣へ移りまして申認け御座いません。いつも御世

平葉へ又移りました。大分は別府も御ざいますし廣島縣へお近 すやうにお便りなど思ひつゝ筆無性者にてそれもかなはず過ぎ すやうにお便りなど思ひつゝ筆無性者にてそれもかなはず過ぎ てしまひました。何卒惡しからず、皆々様に御會ひの節はおよ ろしく御ねがひ申上ます。千葉は東京から省線で一時間位で御 座いますから御上京の節は御立寄り下さいませ。

(增田) 平 井 直 江

お懐しいお手紙有難く拜見いたしました。いつも御元氣な御 を表談に結構な事と存じ上げます。私もお蔭様にていたつでた ではでしたか長谷川先生のお宅へお邪魔いたしましてたのし い一日を過してまいりました。簡單で御座いますが御通知申上 い一日を過してまいりました。簡単で御座いますが御通知申上

第十二回卒業生

國安マサヨ

大髪箸さ嚴しい折柄諸先生初め同窓の皆様には如何

お過しで

御座いませうか。

今や聖戰四ケ年を迎へ又紀元二千六百年の盛典にあたりましてこの意義深い年を私は豫期だにしなかつた幼い子供達の美して忙がしい日々を送つて居ります。

れん事と終りに皆様の御健康を祈つて止みません。

(吉川) 土 肥 貞 枝

時にふれ折にふれ思ひ出しますのは母校の事で御座いませず残のですけど少し離れて居りますれば其の機會が御座いませず残ます。一度同窓會にも出席致し皆様と心ゆく迄お話し致し度います。一度同窓會にも出席致し皆様と心ゆく迄お話し致し度います。

長女が今年女學校に入りましてどんなに力強かつたか分りませんでした。

で御座いますが汽車も自動車も便利が宜しう御座いますから御いつまでも變りませんのがお友達の情で御座います少し田舎

(砧) 山本鶴代

私が率天にまゐりましてもう八年といふ歳月が夢のやうに過るやうですが皆様方お忙しいのでお目にかゝる機會も尠ないことを何時も残念に思つて居ります。何かよい方法で定期的に集とを何時も残念に思つて居ります。何かよい方法で定期的に集と希望してをります。

(坪島) 井 藤 清 子

今年一人殖えまして三男三女の母謂ゆる國策型です。長女は山と轉々として只今は當地(岩國)に落付いて居ります。同窓の皆樣誌上でなりと御懐しい御便り御聞かせ下さいます。同窓の皆樣誌上でなりと御懐しい御便り御聞かせ下さいませ。

終りに母校の繁榮と皆様の御多幸を御祈り致します。

は度は珍らしく同期生三人の賑やかな處で遠く國を離れて居 を関れて四人の子供の世話に忙しく暮して居ります。 は度は珍らしく同期生三人の賑やかな處で遠く國を離れて居 は度は珍らしく同期生三人の賑やかな處で遠く國を離れて居

案外幕し良い處ですから渡滿の機會も御座いましたら怖れず

(深谷) 石 堂 京 子

事を嬉しく存じます。

に掛りお元氣な御樣子に心から喜ばしう存じます。 時折りは堀部先生、今井先生、岡本先生、多田先生にお目 す。時折りは堀部先生、今井先生、岡本先生、多田先生にお目

年で御座います、外は五年生二年生で御座いますから大して手余り元氣でない私に男兒が三人惠まれまして、長男は中學一

まないとは思ひつく二年三年と過ぎて仕舞るました。せん。日一日と退歩致します私を眺めまして子供に對しても濟も損らないので御座いますが朝夕一寸も私の時間とて御座いま

何から申上げて宜しいやら前後致しまして心の<u>軽</u>理が出来ま

諸先生皆々様の御多幸を心から御祈り致します。

滿洲に於ける家庭生活

山本鶴代

皆様お懐しく存じ上げます。

隆昌と皆様の御多幸をお祈りいたします。のんといふ光榮、何んといふ撒びでございませう。謹みてはるかに満洲の地より東方を拜し御祝詞申上げますと同時に母校のかに満洲の地より東方を拜し御祝詞申上げますと同時に母校の

を 本満人全体のことではなくわれ / 一日本人の家庭生活特に私 を在満人全体のことではなくわれ / 一日本人の家庭生活特に私 が体験いたしました實狀を申上げて今後満洲に生活遊ばす方々 が体験いたしました實狀を申上げて今後満洲に生活遊ばす方々 の何かの御参考に供したいと思ふ次第でございます。

もつと具体的に申しますと在滿日本人の數を殖やすことが最も

いふことは一大國策の一つでもありませうからその閉拓には何 んと言つても日本勢力の普及、謂ひかへますと日本人の進出、 投資をして今日の滿洲國を勢力範圍に入れた譯で滿洲國開拓と ために新しい法律がでるとか、とにかく住宅難に関している を取消さねばならなくなつたとか、又近く渡滿者の制限をする 國策會社では内地で新社員を澤山採用はしたものゝ本年はそれ す。また聞く處によりますと住宅沸底の結果滿鐵會社や其他の といふ洵にお氣の毒なお話をいろしく何つてをりますやうな有 婚なすつても住宅がない為に奥様を呼び寄せることが出來ない 牛一間のアパートに二組の夫婦生活を續けてゐられるお話や結 宿生活、 で何時の間にかお婆さんになつてしまひましたが、その間に下 ⟨なお話を伺つております。素々日本が莫大な犠牲と巨額な ものも將來大變な變化を餘義なくされるのではないかと思ひま 様で、自然滿洲に於ける日本人家庭の生活様式といつたやうな ります、現在の滿洲、特に奉天、新京、吟爾賓の如き都市は何 來で踏んで行く種類の生活様式を經で現在に及んでゐる譯であ れも大變な住宅難で仲々住宅が見附かりません。なかには四疊 アパート生活それから普通住宅生活と誰でもが滿洲

の思ふやうな譯にも行かぬことゝ案じてをります。とが急務かと存じます。けれども何分に物資不足の折柄で私共肝要なことでありましてそれには是非この住宅難を解决するこ

同窓會員の方々で滿洲にお越しの方も年々その數を増加することですが前述の意味に於きましてどん (御越し下さること を念願いたします。昔は滿洲へ來ることを「滿 洲 落 ち」と か 上 むを得ず満洲行をする位の意味に一種さげすんだお考の方々 があつたやうでございますが、現在並に將來の滿洲は日本にと りましてはある意味の營業場、仕事場、店舗に當り內地はお座 要な事業地となつてをりますし交通機關の發達によりまして東 変な事業地となつてをりますし交通機關の發達によりまして東 変な事業地となってをりますしで通機關の發達によりまして東 なくては到底その事業仕事はなりたちませんやうな譯で最も重 なくては到底その事業仕事はなりたちませんやうな譯で最も重 なくでは到底その事業仕事はなりたちませんやうな譯で最も重 なく不満洲へ御進出願ひたいと存じます。

思ひます實は私も最初その點を非常に案じまして、私の様な平御心配なさいますことは氣候のことつまり寒さのことだろうと

滑稽に存じます。かい配いたしましたが八年經過後の今日それを想ひますと寧ろ素からあまり健康体でないものが果して永く生活できるかどう

他都市の詳しいことはよく判りませんが、この奉天では冬期に於ける普通温度は氷點下十二、三度、稀に寒い日で十八度乃至二十度位に下ることが御座いますが年々暖くなつて來る樣に思ひます。人樣のお話では日本人が殖へると氣候まで日本式になるのだと笑話をきゝますが、鬼に角年々幾分づゝ暖くなつて來る様に要すとそれだけでも隨分寒いちやないかとおつしやる方があるでせうがそれは外氣のことで滿洲は元來寒氣地帶のことですから室内暖房設備が行屆いておりますから私どもは一年の內冬がら電性み易い感じがいたします。

これといふ不自由もなく例年の様に溫い冬を過しました。お話も聞かない事も御座いませんが、私の宅ではお蔭様で別にお話も聞かない事も御座いませんが、私の宅ではお蔭様で別に

い季節なのですが滿洲の春は御存じの蒙古風が吹さまして所謂す。年中で一番嫌やなのは寧ろ春でせう。内地は春が一番樂し

ことも御座います。
で鼻から口へ砂が吹き込みまして肩毛等も黄色に見えるやうな黄塵萬丈の諺の通り砂風がひどく吹きお髪といはす眉毛といは

夏は寒帶地だけに京しい夏で御座います。朝夕の京しい快さ

れられる冬は秋夏につぐ暮しよい土地だと思つております。 いので秋の満喫にはもの足りない感じを毎年繰り返しておりまいので秋の満喫にはもの足りない感じを毎年繰り返しておりまいます。 鬼に角四季を通じまして氣候の上で暮し憎いと思ふ期に春だけで他の季節は私は左程嫌だとは思ひません。一番恐れられる冬は秋夏につぐ暮しよい土地だと思つております。

必需品の供給を行つておりますし奉天春日通りといへば十名奉くて困るだろうと思名すかも知れませんが現在の奉天は人口百さ。市場設備、商店街の整備は云ふに及ばずこれと云ふ不自由す。市場設備、商店街の整備は云ふに及ばずこれと云ふ不自由は少しも感じられません。滿洲國政府は滿洲生活必需品配給會は少しも感じられません。滿洲國政府は滿洲生活必需品配給會は少しも感じられません。滿洲國政府は滿洲生活必需品配給會は少しも感じられません。滿洲國政府は滿洲生活必需品配給會は少した。

寸申上げましたが、ではどんな風に装置されてゐるかと申しま

さきに氣候のことを中上げ室内煖房装置の完備したことを

天銀座とも謂はれ、その繁榮の樣は東京銀座を想はすやうな繁 内地標準の幾割増しになつてゐるやうですからその點で住み難 を得ない次第でございませうが收入の方も俸給などその為めに を課せられて來ます關係上それだけ高價になることだけは といふ事は御座いません、尤も物價の點は日本から運賃と 道、 ならぬといふ現然で御座います。 す。午後八時から十時までは車馬の交通止めを余義なくせねば 華街で特に夏の夜は夜店が軒を並べ通交人は每夜大變な難踏で 0 やうな透明さと冷さ 最も大切な水のことでございますが奉天の地下水は世界第二位 いといふ事はないと思ひます。 貨店の三大デバ もすぐ届けてくれます。滿毛百貨店、三中井百貨店、幾久屋 に御用聞きは朝夕必ず廻つて來ますし電話で注文すれば何んで 點は奉天に住む人の誇の一つに數へられております。 廣島程度では見られぬ完備した商店街でございます。 ートがありますので特に滿洲だから品物 (夏は) があつてとても氣持の 物資に先じて生活必需品として 從つて物資は何んでも整ひ尾 よい 水でこ 不足だ それ 此 稅金 む

との 役前 持ちよいものです、 度に温める装置になつてをりますがその쑳温の工合はとても氣 鐵 を設けたもので下部 や大建築に蒸氣煖房を使用してをるやうで御座います。 が普通家庭では温水暖房とペチカが一番多く使用され、 これにストーブ滿人下級生活者は温突式媛房を用ひております 10 高裝建築が實際は最も多く窓敷も普通でありますがが壁の T ふのは露西亜人が創案し最もよく使つたものだそうですが各室 チ 47 は普通三尺位にして各窓を二重装置にしてガラスとガラスの間 おるのでありますがもとく、満洲の文化を促進させたのが日露 於ける住宅は高 すと第一家屋の構造から申上げねばなりません。 カとスト 材不足の結果蒸氣、 でをります、媛房装置は蒸氣媛房と温水媛房と露式ベチカ、 中間空氣の存在を造り直接外部寒氣が室内に流れることを防 敷を少なくし壁を厚くする事を耐寒建物の要諦だと言はれて 接觸中央部に煉瓦で圓管を造りその外部を鐵板で聞ひ煙突 の露西亞人でありその次に日本人になつた關係上西洋式の ーブが殖へたといふお話を伺ひました。 い建物はよくないとされ、しかも窓を小さくし 唯煙突を必要といこします關係上各戶の煙 の方に焚口ができてゐて接觸した各管を一 温水媛房装置はズットその数が減つてペ 元來寒帶地 ペチカとい が近來 事務所 厚さ 1=

> 降る等といふ笑へぬ話も御座いますが寒さの點は以上のやうな にとで何の御心配もいらぬだけでなく内地より非常に樂だと思 ひます。主人等は冬内地に参りますと毎も風を引いて内地は寒 くて困ると申しますが内地の室内は却つて滿洲より寒い結果だ と思ひます。

大に生活様式のことで御座いますが建物の形式が洋式になったります關係で普通和洋雨様もしくは折仲といつた形の生活で御座います。一方に西洋窓があるかと 思 ひますと一方には地日本式の置床を造ります。上を見れば西洋天井下を見れば日本疊といつた接配で服裝なども和洋雨様になりますが子供や外出勝ちの人は大抵洋裝です。結髪は内地同様に日本髪は漸次少くなりまして殆んど洋髪で御座います。稀に料理屋方面の人にくなりまして殆んど洋髪で御座います。稀に料理屋方面の人に

やうですがそれに比べますと西洋人側は家についた設備以外にいのも諸外國人中第一だと思ひます。まづ居間には簞子を置くいのも諸外國人中第一だと思ひます。まづ居間には簞子を置くいのも諸外國人中第一だと思ひます。まづ居間には簞子を置く

い一坪位の家に家族五六人も平氣で住んでゐます。

聖戦の結果は必ず大東洋平和が完遂され日本人はこれからどん (~ 満洲と云はず支那南洋方面へ進出せねはなりませんが、その爲めにはその土地に應じた生活をする覺悟が必要であり、 にならぬといふ習慣を改めて簡單な生活で辛抱するといふこと が皇國勢力の普及の上に大切なのでは御座いませんでせうか生 活道具を装飾のやうに並べたて > 自慢した時代はもう過ぎてるるのではないでせうか。

を恐縮に存じます。

第十三回卒業生

杉原みちえ

大いに心身を鍛へられて居ります。
を関係では、と御世話様に相成りまして有難ら存じますが、いていりを鍛べられて居りませるのみにて勤勞率仕等に忙しく致いに心身を鍛べられて居ります。

様です………下略。 は追はれてゐます「貧乏暇なし」之は私の爲に吐かれた言葉のに追はれてゐます「貧乏暇なし」之は私の爲に吐かれた言葉の日、其の日

矢 吹 壽 江

前略………今日からは小學校もお休みになり長男(零三) 太男(四蔵)と長女(尾道高女)の三人で大變賑やかして居り ます。毎日家事と子供等の世話で平凡に過して居ります。 にく存じますが何も出來てゐないのを残念に存じますせめて資 たく存じますが何も出來てゐないのを残念に存じますせめて資 で到發展と諸先生幹事樣方の御多幸をお祈りしてペンを擱かせ で頂きます。

大 西 紀 子

中コツ~〜働いて居りますその變り無い頭は全くカラツボにな 変よくなると思はれます。私至極平凡に暮して居ります時局柄 がは位い。体もすつかり元氣になり厄年を征服しました一日 の体な位い。体もすつかり元氣になり厄年を征服しました一日

りました幹事として行屆かぬ事ばかり皆様にすまなく思ひま

第 + 四 回 卒 生

、果實は豊富でとても美味しい!!のです。皆様南進日本の據點 て因る等の事もございません。冬に至つては避寒の趣さへ有り 單に夏の期間が長い丈で朝夕は氣溫もぐつと下り、夜分蒸附い 地化され衛生施設は行屆き何等不自由はありません。生蕃蛇、 優勢ですが治政四十餘年にも及ぶ今日、 その中の一人でございましたから。人口的には本島人が遙かに 様子を御照會致さうと存じます。實は私も此方へ参ります迄は ともなれば水銀燈が水色の光を放つ住み好く否氣な所です。唯 く暮して居ります。或は皆様は臺灣と云へば赤道直下の炎熱と ラリヤに悩まされたは昔の事今ではアスフワル 御懐しい皆様御變り御座いませんか私達も至つて元氣に樂し へ是非一度御來遊を!幾山河を遠く離れた內地はとても懐 マラリヤ等色々に想像なさる事と存じますので此方の 惠谷靜子) 松 日常生活様式等至く内 本 トの舗道に夜 倖 子

> 店の仕事に眞黒になつて働いて居ります。 お蔭様で元氣に朝から晩まで一商家の妻として炊事に帳簿に 働く事によつて大きな喜びの日々を過させ 杉 働く事こそ銃後女性 本 松 江

芋 0

て頂いて居ります。

のつとめとも思ひ、

田 頭

章

はや虫の鳴きはじめたる夕べかな 白粉の花美しき河原かな 二つ三つ南瓜のなりし畠かな 芋の葉に魚を買うて行きにけり 秋の空だんと一高くなりにけ b

(小林) 安 宅 貴 美 枝

の婦人を社會に送り出して下さるのも偏に母校諸先生の御盡力 に外ならぬと有難く御厚禮申上げます。 紀元二千六百年の御代に當り母校も益々充實し日々現代欲求 私も此非常時局に際し

しいのです。

終りに幹事皆々様に御禮申上げます。



(泉) 岩 田 登 志 子

て十三年。

御無音に打過ぎ申譯ございません。

事消光致して居ります。本年二月歸還致し、九歳四歳の悪戯盛りの男兒共共打揃つて無本年二月歸還致し、九歳四歳の悪戯盛りの男兒共共打揃つて無本年二年事變當初より應召致して居りました主人も御蔭様にて

今夏歸郷致し皆様に御目もじ出來ますかと樂しみに致して居りましたが都合で千葉の海へ参ることになり寔に殘念に存じ居

(定森) 木 阪 幸 子

れなくて残念です。東京の同窓會には毎年樂しみに出席して居郷致しますのが毎年五六月ですので皆様と同窓會でお目にかゝ

第十六回卒業生

も母校のためにお盡し頂いて感謝の他ございません、お別れし申談もない御無沙汰でお詫の申上げ樣もございません、いつ

城

京

子

の名譽にかけても最後迄がんばるつもりで居ります。の名譽にかけても最後迄がんばるつもりで居ります。私事、昭和十二年八月、日支事變劫發とかり致して居ります。私事、昭和十二年八月、日支事變劫發とかり致して居ります。私事、昭和十二年八月、日支事變劫發とから致してといいではかいりつい失禮ばれた回生の皆様いかいる過ごしかと心にはかいりつい失禮ばれた回生の皆様いかいる過ごしかと心にはかいりつい失禮ばれた回生の皆様いかいる過ごしかと心にはかいりつい失禮ばれた回生の皆様いかいる過ごしかと心にはかいりついた。

迄。 十六回生の皆様にお逢ひの節は何卒よろしくお傳へ下さいませ、勤務の暇の走り書、何卒お許し下さい先づは近况お知らせせ、勤務の暇の走り書、何卒お許し下さいまづいた。

(小川) 阿知波展子

一年以上の月日を送り、この平和郷の有難さが身にしみます。雑な色を誇つてゐます。事變最初出社しに主人が歸還してより此處は武蔵野の黒土の眞中です。雑木林が思ふさま新鮮な複

の様に早く終ります。 動物の様にすばしこい女兒と一月生れの男の子の間で一日が風 の様に早く終ります。

(黑潮) 木 曾 千 枝 子

日々きびしい暑さでござゐますがお障りもあらせられませんかお伺ひ申上げます。平素は御無音にのみ打過ぎ申譯もござゐません、(中略)別にこれと云ふ面白いお話もなく平凡なる母親としての生活でございます。皆様の御動靜は是非さかせて頂きをしみにいたし居ります。年後の御動靜は是非さかせて頂きお目もじの機を得ません。一度親しくお話いたし度く存じ居りお目もじの機を得ません。一度親しくお話いたし度く存じ居りなります。

(小原) 郷 田 ヤス子

春四月、こちら三原市木原町に轉任致しました、こゝ木原の地ませんけれど私達十年餘も住み馴ました向島時代を過ぎて昨年から樂しみにお待ち致して居ります。近况と云ふ程でもございから樂しみにお待ち致して居ります。近况と云ふ程でもございから楽しみにお待ち致して居りますので私達のなつかしませんけれど私達十年餘も住み馴ました。こゝ木原の地ませんけれど私達十年餘

れど静かに平凡な日々を過ごして居ります。余り丈夫でなかつれど静かに平凡な日々を過ごして居ります。余り丈夫でなかつた三人の子供もこゝ本原に参りまして揃つて元氣な子供になりました、やはりこの地の空氣、周圍がよかつたのだと信じます、二人の子供は小學校の三年生と二年生になりました次女も來年また一年生に入學致します、實家が近くなりました次女も、糸崎町の方へも参りますけれど、あちらのお友達も皆遠くへく糸崎町の方へも参りますけれど、あちらのお友達も皆遠くへに参りますけど餘りお友達にもお會ひ致しません。

り近てペンを擱きます。
りしてペンを擱きます。
りしてペンを擱きます。

ませ御待ち致して居ります。せゝこましい所ですけれど御ひまの節お遊びにお出で下さい

(林) 竹內 ミヱ子

只今お葉書ありがたう存じました、お暑さにもおさわりなく

変行の日をこゝろまちに致して居ります。

した。私も八歳の女兒と三歳の男兄がございまして二人の子供した。私も八歳の女兒と三歳の男兄がございまして二人の子供した。私も八歳の女兒と三歳の男兄がございまして二人の子供した。私も八歳の女兒と三歳の男兄がございまして二人の子供した。

(森田) 森 田 綾 子

(お様子いたします。
とお様子いたしますから然るべくお願ひいたします。又後程くわしどりいたしますから然るべくお願ひいたします。又後程くわしくお様子いたしますから然るべくお願ひいたします。又後程くわしまりいたが丁度子供病氣にて手を取りますので取敢へす會費拾圓おりな様子いたします。

(室) 中本初枝

いつも御無沙汰致しまして申譯もございません。母校の皆々様

この事變で名譽の戰死をされた方々、拒征軍人の方々への感樣に文の拙ない者は近况だけしかかけない樣に思ひます。皇紀二千六百年を迎へまして何か書く樣にとの事ですが私の

書、母校の諸先生すら隨分お變りの事でせら同窓の方々ともあまりお逢ひ致しません、私の様な族の土地に住む者にとりまして母校の方とお逢ひしたらほんとうにうれしく存じます。同期の石井ハナ様、弓場マツェ様、とは時々御逢ひ致します。同期の石井ハナ様、弓場マツェ様、とは時々御逢ひ致します。同期の石井ハナ様、弓場マツェ様、とは時々御逢ひ致します。同期の石井ハナ様、弓場マツェ様、とは時々御逢ひ致します。利方の子大阪にお住ひの方々で同窓會を開きたいと思ひますが子供が成長致は少しも學生時代の氣持と異らないと思ひますが子供が成長致しますので自分も年取つたやうに思ひますがまだ了~未完成な自分を見出し、少しでも修養致さねばと努力致して居ります。自分を見出し、少しでも修養致さねばと努力致して居ります。自分を見出し、少しでも修養致さねばと努力致して居ります。自分を見出し、少しでも修養致さねばと努力致して居ります。

有田)竹本朝子樣

二人のお母様としてお賑やかにお暮しでいらつしやいます。この間三人目のお子様を御安産なさいました。男子一人女子

待ち居ります。私は一男二女の母として毎日忙しく暮して居りを御發行になります由一日も早く皆様の御様子承り度樂しみに御無沙汰を御許し下さいませ、母校の諸先生を始め同窓の皆知無沙汰を御許し下さいませ、母校の諸先生を始め同窓の皆の無力を表していませ、母校の諸先生を始め同窓の皆の無力を表していませ、母校の諸先生を始め同窓の皆の無力を表していませ、母校の諸先生を始め同窓の皆の無力を表していませ、母校の諸先生を始め同窓の皆の無力を表していませ、母校の諸先生を始める。

末筆ながら皆様の御健康を御祈り申上げます。

吉 本 文 子

あちこち轉々と致しまして亦々昨今は岡山市に歸つて居りますが何處に落付くことでございますやら、いつも乍ら色々と御かな母として忙しい日を過して居ります。長男が早三年生になりました仲々骨の折れます事同期の皆々様もいろく(と御變りでざいませうね、年のたつほど皆様が御なつかしく何かと思ひ出されます。おのがむきく~皆様どりぞ御健在でおはげみ遊します様御祈り致します。

と子供のことに追はれ其の日~~を元氣に過して居ります。とうれしく存じました。すつかり御無沙汰致して居りますが御變りございませんか、私事廣島新市内安島沿線の高須に住し三御業書戴きあけぼの誌上で皆様の御近况御聞き出来るとのこ

清水春江樣

す。 お奴様なきあと、お母様がわりとして澤山のお子様の面倒をお嫂様なきあと、お母様がわりとして澤山のお子様の面倒を

久田(楢原)閑江様

北京にて雑貨商を営んでいらつしやいます。

加藤キョコ様

いそしんでいらつしやいます。

お父様がなくなられました後お一人のお嬢様を中心に家業に

37

第十八回卒業生

(大塚) 宮 地 敏 子

大變おなつかしく嬉しく存じました。すぐ近くへお睦じい新家日坊や二人を相手に、賑かな日々を過して居ります。 居りません。主人がお勤めの關係歸宅をとても三人でよろこんで迎へます。先日市場で偶然土屋様(井口様)にお目にかゝりで迎へます。

(梶田) 松 田 芳 子

庭をおもちでゐらつしやいます。

地へがたいお暑さてございます、其の後皆様には御機嫌うるはしくいらせられますことゝ存じます。故郷を離れてゐる者にはしくいらせられますことゝ存じます。故郷を離れてゐる者には皆樣の御樣子のわかるのが何より嬉しく樂しいものです。今主人社用にて廣東へ出張中にて二人の子供と女中と留守居致して居ります、上の子は政弘(四歳)といひまして毎日元氣で遊れで居ります、立のです。今れで居ります、上の子は政弘(四歳)といひまして毎日元氣で遊れで居ります、上の子はようやく這ひ這ひする様になりました。「這へば立て立すといません西宮にはクラスの方いらつの成長程業しいものはございません西宮にはクラスの方いらつの成長程業しいものはございません西宮にはクラスの方いらつ

御自愛の程お祈り致して居ります。では皆様くれるくも

(片山) 山 內 靜 子

母校よりのお便りなつかしく拜見致しました諸先生方始 め 母校よりのお便りなつかしく拜見致しました諸先生 方始 め 中上ます。さて私も相變らず元氣でございますから御安心下さいませ。それに子供ももう大きい方は尋常三年になり、小さい女の子も七歳になりまして、鐵工所へ勤めております主人と四女の子も七歳になりまして、鐵工所へ勤めております主人と四人有難い様な平和な生活を致して居ります。 末筆ながら皆々様の御幸福を心からお祈り 致して おります。末筆ながら皆々様の御幸福を心からお祈り 致して おります。

島原)岩井サカエ

かゝる機會もなくて心淋しく思つて居ります。私も只今では三参りましてから早八年にもなりますが一向にどなたにもお目に同窓の皆様お變りもございませんかお伺ひ致します。大阪に

多幸をお祈り申上ます。との子供(長女一年生、長男六歳次男今年五月誕生)がございます、日々を子供相手の平凡な生活でございますが幸ひに皆健ます、日々を子供相手の平凡な生活でございますが幸ひに皆健

艮 井 壽 子

(報で売みない生活に精進致しませう。
(報で売みない生活に精進致しませう。
(報で売みない生活に精進致しませう。
(報で売みない生活に精進致しませう。

第十九回卒業生

石 井 正 子

になつた方もいらつしやいませう。謹んで御伺ひ致します。佳々の想出が蘇つてまいります。中には御主人様を戰地に御送りの發行される時が訪れましたね。皆様のお元氣なお額を偲び敷

まり御所り致します。

田中サダム

諸先生はじめ幹事の指樣御元氣にて母校の爲に何かと御盡力 下さいまして有難うございます。驚くばかりの母校の發展を非 常に喜んでをります。卒業以來瀨戸內海の小島で吞氣に生活し てをりましたが、昨年主人の應召解除後當地に參り、五歲の男 見を相手に過してをります。何時もは主人が海上生活ですの 見を相手に過してをります。何時もは主人が海上生活ですの で、坊やと二人で留守番です。田舍育ちの私は、上神當時、田 で、坊やと二人で留守番です。田舍育ちの私は、上神當時、田 で、讀書もペンを持つことも、まだ禁じられてゐますのでこの 度は住所と姓の變更のみ知らせさせて戴きます。

中岡久枝

過してをります。懐しい母校を後に、お別れしまして、最早十し遊ばされますか。私共一家は祝福すべき二千六百年を恙なくむ懐しい母校の諸先生始め同窓生の皆樣にはお機嫌良くお過

巻育に毎日沒頭してをります。時は非常時ですどうぞ諸先生方巻育に毎日沒頭してをります。時は非常時ですどうぞ諸先生方や皆様方も健かにいらつしやいませ。

本 良 江

橋

諸先生方にはお變りもなく、御勤務のことゝ存じます。故郷を離れ、同窓の方々とも、少しも交際もない現在で家事に追はを離れ、同窓の方々とも、少しも交際もない現在で家事に追はのに、今更年ら學生時代がなつかしく思ひ出されます。只今大阪の一隅に、さゝやか年らも幸福な日日を過してをりますが、酸の一隅に、さゝやか年らも幸福な日日を過してをりますが、な事もなく又お訪ねもしませんが、一度一所に御遇ひして色々わ話ししたいと考へてをります。

山 成 為 子

と誠に申譯なくも會の方に御無沙汰いたして居りますが、お蔭けなく同窓曾より、便りをいたゞき、有難う存じました。私こ諸先生はじめ皆樣方、お元氣でいらつしやいますか。思ひが

して、平凡な主婦として暮して居ります。 様で元氣でこちらで過してをります。本年は二歳の女兒の母と

山西八重子

雨後急に暑氣相募り、大變お暑くなつてまいりましたが、諸先生方を始め、同窓生の皆様には、お變り無く益々、神機嫌好も日々元氣で送日させて戴いてをります。ほんとにむさ苦しい島ではございますが楠公様の程近い所で御座居ます故、御機嫌好の方々はどうぞ御立寄り下さいませ。

横尾すみ枝

おかな海を思ひ出してをります。はなってしまひました。幼稚園に行ってをります七歳の康言葉になってしまひました。幼稚園に行ってをります七歳の康言葉になってしまひました。幼稚園に行ってをります七歳の康言葉になってしまひましてをりますと、毎年なつかしい瀬戸内海のります。

渡邊夕之又

樂しかつた學びの含の生活と懐しい級友の皆様とお別れした

○ 力强く榮えんことをお祈りします。
○ 力强く榮えんことをお祈りします。
○ 力强く榮えんことをお祈りします。
○ 本れでも限りない喜びを大な眺めに走らせつ > 、昔のことなど思ひ起してゐます。今は大な眺めに走らせつ > 、昔のことなど思ひ起してゐます。今は大な眺めに走らせつ > 、昔のことなど思ひ起してゐます。今は

三好光枝

向一切女中に委せて毎日帖場に居ります。

日父病氣の報に接し目下一ケ月程實家に滯在して居ります。
も営地に結婚致しましたので賑やかになりました。去る二十六
も営地に結婚致しましたので賑やかになりました。去る二十六

(伊藤) 保 田 豊 子

の生活を乗切つてゐます。六人家族の營養維持等,責務は實に當地は最近やうや〈水に惠まれたとは云へ,砂糖のない非常時當地は最近やうや〈水に惠まれたとは云へ,砂糖のない非常時でない平凡な拙宅たゞ一同健全な明け暮れを續けてゐます。

です。時恰も皇紀二六○○年、弟は第一線で挺身報國、主人大です。時恰も皇紀二六○○年、弟は第一線で挺身報國、主人

第二十回卒業生

(八木) 岡 本 美 都 子

御無沙汰に打過ぎて居りますが母校諸先生並びに同級生の方

本には御元氣でお過しでいらつしやいますか。本には御元氣でお過しでいらつしやいます。卒業以來奈良京都と續けて五月より新京に暮して居ります。卒業以來奈良京都と續けて尾道をはなれて居りましたので一度も同窓會總會に出ます事も出來ませんでしたのに又こんなに遠くへまいりましては何時あのお懐しい校舍を見る事が出來ますかまことに心細うございます。新京は只今は木々は繰に草ものびくくと茂つてまことにが開いて夏と秋と一緒に來てゐる樣でございます。七月半でございますのに昨日來一寸肌寒さを感じて居ります。滿洲は大變ざいますのに昨日來一寸肌寒さを感じて居ります。滿洲は大變ざいますのに昨日來一寸肌寒さを感じて居ります。滿洲は大變が開いて夏と秋と一緒に來てゐる樣でございます。七月半でございますのに昨日來一寸肌寒さを感じて居ります。

(福田) 工 藤 幸 枝

ます、芸人にて思ふ程實のりません。
暑中御見舞ひ申し上げます、浦曙會の皆様お變りは御座居ま

第、鬼、モルモツト、犬等の世話でのんきな様なせわしい様

子供は當年六歳の小枝子一人です。ひまさへあれば川魚釣り

す。

(泉) 高橋みさ代

卒業してもう幾年になりましたか知ら、遠い昔の様でもありたつた此の間の様でもある感じが致します。同じ巢から巢立つたれ共一人 (それ (思ひ (の生活を營んで居る事でせた私共一人 (それ (とし) を関いる場でが多ります。同じ巢から巣立つます。毎年歸郷致しますがクラスのお方様に少しもお會ひ致さます。毎年歸郷致しますがクラスのお方様に少しもお會ひ致さます。毎年歸郷致しますがクラスのお方様に少しもお會ひ致さます。

御渋様の御多幸をはるかに祈りつい。

(木曾) 武田

裏山には松茸も生えます。
表出には松茸も生えます。
表出には松茸も生えます。
表出には松茸も生えます。
表出には松茸も生えます。

ん。山奥と申しましても自動車の便はよく二丁程歩けば私方でい一話も聞かせて蔵きましたがその後學校の 様子も 分り ませい 一話も聞かせて蔵きましたがその後學校の 様子も 分り ませ

岡本一枝

事をして働かせて頂いて居ります。お暑さの折柄御體を御大事事をして働かせて頂いて居ります。お暑さの折柄御體を御大事

(村上) 圓 山 清 江

しておとなしく良い奥様になつてます。田舎の開業醫に嫁し平和にすごし昔の「キーチャン」を清算

尚水山紀惠

長らく御無沙汰ばかりいたしまして中澤け御座居ません。諸

先生外御一同様御丈夫でお暮して御座居ますか。此の度はおなろしく。

(神谷) 峠 文 子

たがお繰りもなく御送日遊ばされますか。

御地の同窓の方々にもお變りはございませんでせうか毎日二人の子供相手に育足に家事に追はれてなか / お便りもよういたしませんで失禮ばかり致して居ります。お會ひの節はよろした々日安田様 (本森さん) に路で突然お會ひして樂しかつた學生時代のお話を致しました。本當になつかしう存しました。こちらにも澤山お友達が來ていらつしやる由ですが一度皆様であつまる會でもあれば樂しいのにと思ひます。

末筆ながら諸先生によろしく。

生時代の事を思ひ浮べつゝなつかしきお便りを致します。 すのでどうか福山へお出の御方はおより下さいませ、 り下りられて聯隊へ行く途中(元誠之館中學校跡)でございま では煙草を賣つて居ります。裏にて印刷をやつて居ります曝よ も多くいらつしやる事と思ひます。私方は東霞町本通りにて店 に修養さして頂いて居ります。福山地方に嫁いで居られる御方 すので氣持が非常に樂になりました不平を云つたり愚痴を云つ ので教育といふ事を考へる様になりました學生時代のあのはつ 年、長女明子(六歳)次女民江(四歳)三女娘江(二歳)の三 のは早きもの全く夢の様でございます、結婚しましてより七ケ たりする事を少しでも少くして何でも良き方にとらして頂く様 望んで居ります。私も近頃より神様を信心さして頂いて居りま して参りました。今度長女明子が幼稚園に通ふ様になりました 人の女の子を恵まれました。今までは家の事のみ考へて過 して見ようと思ひます。将來の十年を有意義に過して行かうと も希望にみちくて來ましたこれからはぼつく何やかと研究 らつとした研究心がぼつく、芽生え出して参りまして私の生活 尾道高女を出てより早十年の月日は經ちました。月日の經 ありし學

皆々様の御健康をお祈り致します。

(野間) 藤澤チトセ様

です。皆様とともにお主人の武運長久をお祈りいたします。 に歸つて一人の男の子供さんとお元氣にて銃後をお守りだそう **吳の方にお住でしたが事變始めにお主人出征なされ今は郷里**

(小林) 大濱藤枝様

します。 人のお冥福をお祈りするとともに大濱様の御奮闘をお祈りいた 雄々しく立上ろうと決心致してゐます」とのお言葉です、お主 のためでございますれば悲歡の涙もぬぐひ一人の遺兒を抱いて 死をなさいました由何んと申し上げて良いやら大濱様は「お國 南支方面にお出征中でしたお主人去る七月二十七日名譽の戰

植永政枝樣

い先生です。 して内に外にとなかくる忙しい日を送つてられますとても良 御元氣にて土堂校におつとめです。昨年お母様をなくされま

高 垣 フ

お多幸をお祈りるたします。 様少しはお近況をお洩し下さいませお待ちしてゐます。皆様の で殊にすまないと思つてゐます。どうぞおゆるし下さいませ皆 伺ひいたします。私は相變らず元氣でゐますいつもとこかぬ事 いつも御無沙汰致してゐます皆様お變りもご座居ませんかお

上 ,][] 7 子

の親となつての暮しは心強くも樂しいもので御座います。どう 子供等を相手に暮して居ります、僅か一年の間ながら五十余人 私も子供も橋の丘々もどんなに喜ぶことで御座いませう。 たいと日々念願して居ります。おひまにはお越し下さいませ、 か育む事の喜びと望みと願ひとを失はぬやう御國の子供に接し 皆様御懐しう存じます、私相變らず向島東の一隅で小學校の

楢原喜美江樣

北京のお姉様のところへお手傳に行つていらつしやいます。

(中谷) 鶴

先生幹事諸姉の御健康御多幸を御祈り致します。 にそつて二人とも女の子で四蔵と二歳でございます。 辛らくても元氣で働かれる事に大いなる喜びを感じ、すくく と成長する子供達に限りなき希望と光を感じて居ります。國策 子供が二人になつて大變忙しく暮して居ります。苦しくても 最後に諸 子

田 中 子

つて、 で居ります。 六月突發事故の爲亡くなりました。只今の私は兩親の膝下にあ したが、昨年五月主人は應召となり金澤の陸軍病院に勤務中祭 長らく御無沙汰中上げました。 ひたすら亡き人の冥福を祈りつゝ過ぎ越し方を懐かしん 私東京にて結婚致して居りま

(川本) 松 田 7 è

市津山女子高等技藝學校奉職松田家に嫁し一男を擧げ居り候 て近况御尋ねにより左記御知らせ申候共立女專卒業後目下津山 拜啓時分柄氣候不順に御座候今般母校同窓會誌の發行に就い

> と三人感謝の日々を過させていたざいて居ります。 いたゞき此の度歸還させていたゞきました。 ら御よろこび申上げ居ります。 一線に三ヶ年の御奉公を申上げて居りましたが有難たくも命を 御暑さ酷しう存じます母校も日と共に御祭えの御事と蔭なが 私事主人が榮の應召を致し第 只今は四歳の女兒 皆様の御健 かしこ

岸 重 子

皆様の御健康を御祈り致します。 度しみんくと御逢ひ致し度い氣持で一杯で御ざいます。終りに 様の事を思ひ出してはなつかしく存じて居ります皆様に是非 P. 生致しました長男を相手に多忙な毎日を過しながら何時も皆 よく御過しの事と存じます。私事三歳になる長女と今年五月に 同窓の皆様には何時も御無沙汰のみ致して居りますが御機嫌 かしこ

(沖 長 尾 和 子

くも八ケ年の年月が水の様に流れました。 いますか御伺ひ申上げます、昭 大變きびしいお暑さの折柄皆々様には如何 和七年四月皆様と離別致して早 お過でいらつしや

運命に向つて益々御灶健に御活動の事と推察致します。

祝の一端を述べさせて頂きました。
祝の一端を述べさせて頂きました。
祝の一端を述べさせて頂きました。

柿本光子

母校を巣立つたのも遂この間の様に感じられますのに早十ケされます事と蔭ながら御よろこび申上げます。

年近くになります。

成る人は御立派なママサンになられるす様に御祈り申上げておは農大の努力を盡し誰もかも母校の名譽の為に活躍致してるますでは會報御發行の日を樂しく御待ち申して居ります。どうを皆々様何時迄も御幸福にゐらせられます様に御祈り申上げて居ります。

第二十二回卒業生

幹事 松 岡 歌 子

思ひ出多い母校を「螢の光」で巢立燈火親しむ好時期と相成りました。二十二回卒業生の皆々様

思ひ出多い母校を「螢の光」で巢立ちましてより早や八星霜を送ります。

一个事支那事變劫發以來我が忠勇なる將兵は陸に海に將空に身を鴻毛の輕きに比して御活躍下されてゐます事は銃後の私達の にも春の君が、御兄君が御賢弟が直接國防の第一線に御働き遊 してゐられる御家庭もございます事と存じます。司窓の皆々樣の中 臓られた方もございますでせう。又不幸白衣の身となつて御歸 を護らせられた英麗に對しまして心より御冥綿を祈り奉り、御 を護らせられた英麗に對しまして心より御冥綿を祈り奉り、御

私も指様と同じ様に二人の母となりました。ラヂオの朝の音

いましたが、今年七月、二年半年ぶりになつかしい故山に歸つ

私の主人も一昨年祭ある召集を賜り原除にて御奉公申上げて

出來ませず心から相すまないと深ぐ恥入つて居ります。忙しく過して居ります。先般幹事を仰付かりましたが御世話も樂と、ともに、樂しい一日を編物に、染物に、御豪所に、仲々

今年は多難な年でありました鳥か玉稿を賜りましたのもほんの一部の方々に留まつた様で御ざいますが、各地に四散いたします同窓生にとつて一つの軸をなすものは「あけぼの」より外ます同窓生にとつて一つの軸をなすものは「あけぼの」より外

尾道に居られました友達も皆嫁かれまして、淋しくなりました。小酒隆子さんも大阪で御幸福に暮らして居られる御様子でた。小酒隆子さんも大阪で御幸福に暮らして居られる御様子でなりましたとか?時折は皆様お便りして頂き 度 う 存します。

様心掛けませう。可愛い私達の孫の爲に

前線の勇士は命かは

銃後の私達はタスキかけ

考へます。では皆々様御健康を心よりお祈り致します。この氣持で皇紀二千六百年のよき年を送り將來に備へたいり

校の御發展と皆々様の御健在とをお祈り致します。
を被の御發展と皆々様の御健在とをお祈り致します。
をは、なつかしいものは樂しかり
に過ぎました。何時迄も限りなく、なつかしいものは樂しかり
に忙殺されて居ります。主人を戰地に送りましてより丸三年銃
に忙殺されて居ります。主人を戰地に送りましてより丸三年銃
後の我が家を護る為專心努力して居ります。では末筆ながら母
校の御發展と皆々様の御健在とをお祈り致します。

(小西) 小泉隆子

皆様にお別れしましてから丁度八年になります。尾道にゐます頃はなつかしいとも御會ひしたいとも存じませんでしたのに中頃はなつかしいとも御會ひしたいとも存じませんでしたのに様がなつかしく會報も待ちこがれる様で御座います大阪には東島さん(花・咲)脇屋さん(本味)がいらつしやいますのでほんの時々御會ひしては在學時代の御話に花を咲かせて時間も何もわすれて喜んでゐますのどうで皆様御變りなく御元氣に。

村上末子

ます、皆樣の御多幸を祈り上げます。
はした御方も御座いませうね、私も何時の間にか三人の子供のばした御方も御座いませうね、私も何時の間にか三人の子供の

德 山 久 枝

序でがありましたら御遊びに御越し下さいませ。 修(一歳)の二兒の母となりましたそして現在では平凡な母として子供の世話に追ひ廻され忙かしい日々を過してゐます。御東小學校)と結婚いたしましてからもう長女巧枝(四歳)長男東小學校に奉職の主人(目下向島

林 博 子

皆様御變りもなく御元氣で御暮して御座いますか、私も尾道の方へ長い間御無沙汰してゐます。毎日~~子供の相手に元氣の方へ長い間御無沙汰してゐます。毎日~~子供の相手に元氣れがなか~~出ないのでホホ………

同窓の人が三人切でしたが岩竹さん新京へ稻田さん遠くの方

へ行かれ廣い率天に一人ぼつちになりましたとても淋しく御座

(藤原) 佐藤計 枝

五月四日乃木神社で擧式〇〇ホテルで被露をすませ引續き基今旅行等と一ケ月あわたゞしく過してしまひました。主人は第一銀行の室町支店に勤務して居ります。去月廿六日父病氣のため見舞に歸尾約二週間續いて歸尾の主人と共に 歸 京 致 しました。

第二十三回卒業生

(吉本) 松 田 喜 久 子

武運長久祈つて止みません。
武運長久祈つて止みません。
武運長久祈つて止みません。
武運長久祈つて止みません。
武運長久祈つて止みません。
武運長久祈つて止みません。
武運長久祈つて止みません。

皇紀二千六百年の輝かしき年を迎へて御母校の在め御奮闘 か申上げます、何卒何時までも御健やかに御母校のため御奮闘 ひ申上げます、平素は御無晋に打過ぎ失禮のみ致して居り ますが諸先生を初め浦曙會の皆様如何御暮し遊されますか御伺 ますがまます、何卒何時までも御健やかに御母校の盆々御發展を

(小林) 下 西 昌 子

御蔭様にて元氣に送日致して居ります、只今は深田村の小學 やに勤務して居りますと案外いい所なのです。昨年春誕生過ぎ の女兒を亡ひとても淋しい思ひでしたが今は學校で大勢の子供 の女兒を亡ひとても淋しい思ひでしたが今は學校で大勢の子供 を相手にして多少氣もまぎらされて居ります、只今は深田村の小學

第二十四回卒業生

懐かしい母校は益々榮え同窓の皆様御氣嫌よくお過し遊ばし 平 野 智 惠 子

ます事と御喜び申上げます。私は只今專門學校卒業以來すーと

ます。 はいクラスの方々にどうぞおめにかゝれます様にと念じており とつて居ります。夏には田舎の家に歸りますその折はおなつか はなっかゝれます様にと念じており

博 田 孝 子

松 重 英 子

白衣の勇士をなぐさめ致しませう。
白衣の勇士をなぐさめ致しませう。

(村上) 木 村 松 枝

前署主人と忠彦子守の四人きりの家庭に廣過ぎる家なんですけどお父様が移るのに買つて下さつた家なので勿体ないと思ひつゝ住む事になりましたの。(中署) 忠彦ももう三歳になりましたの、下駄等ひつかけてはよくお庭で遊びます、子供の成長はたの、下駄等ひつかけてはよくお庭で遊びます、子供の成長はで歸らないと云つて泣く位なんです。(下署)

(村上) 小 江 富 美

昨秋結婚致しまして主人の赴任地大連に参つて居ります當地に参りましてから大方一年を迎へますが、参りました當時は街の様子も分らず満人が恐ろしくその上言葉も分らないので主人が會社に出ましてからは唯内地が戀しくせめて大阪か東京位の所ならと思つた事も幾度かありました、今では滿人との協和生活にも馴れて参りました。下署

(藍山) 唐澤和子

取つて居ります昨年の四月より大連に來て居ります、毎日平凡が先程参りまして間に合はないとは知り乍ら、大急ぎでペンをすつかり御無沙汰致して居ります。天津より同窓會誌の通知

ですがこれにて。
二月に子供が出來まして何やかやと忙しくて………かんたんながらも樂しくすごして居りますから御安心下さいませ、この

清代幸枝

が一番私らしいやり方だと思って明け暮れ致して居ります。でます事自身が勿体無くも少し何うにかしなくてはと焦々する戦四ケ年に入りました今日何不自由も無く平和に暮させて戴い戦四ケ年に入りました今日何不自由も無く平和に暮させて戴い

本 壽 子

同窓の皆様にはお變りありませんか、今年は丁度紀元二千六 百年ですネ別に變つた事もありません、毎日家事のお手傳をし てゐます。同級だつた方の近况が知り度御座居ます。奥田さん は小學校の先生で忙しい傍吉和の同窓生のお世話を熱心によく して下さるのには蔭ながら大變感謝してゐます。

三阪靜子

「萬歳~」あゆの風るよぐ」と在校生の友達に送られて、懐

かしい學窓を巣立つてもう五年餘、あの廣い講堂での嚴肅且つかしい學窓を巣立つてもう五年餘、あの廣い講堂での嚴肅且つが、皆樣の御期待に從ふ事が出來ないのを何時も必残りに思つてゐますが、皆樣の御期待に從ふ事が出來ないのを何時も

(泉) 小 倉 太 美 子

御無沙汰して居ります。そちらは水不足でお困りでございますので大いに張り切つてゐる次第でございます。お閑の時どうさので大いに張り切つてゐる次第でございます。お閑の時どうぞお出下さいませ。

居阪富江

家の裏には川を隔てゝ陸軍の分院もございますし、當地に慰問す、私も廣島に參りまして二年半當地にもすつかり馴れて四歳す、私も廣島に參りまして二年半當地にもすつかり馴れて四歳

を始め皆様の健康を祈りつゝ。

大高美枝子

教育社會にとび出して先生の最初の學期が終らうとしております未經驗な私、當つて碎けよと突進して見ました。生從の立ます未經驗な私、當つて碎けよと突進して見ました。生從の立果今は學期末のことゝて仲々多忙です此の方は四方海しかも洲只今は學期末のことゝて仲々多忙です此の方は四方海しかも洲只今は學期末のことゝて仲々多忙です此の方は四方海しかも洲口で大分泳げる様になり今では生粹の淡路子以上の黒さになって元氣一杯生徒と共に勵んでおります。

小川康子

懐しい校舎やお友達とお別れして早数年の月日は流れ去りました。御無沙汰ばかりで申譯けございません。貴女様にはお元 気にて母校の爲何かとお世話下さる御樣子お禮申ます。私今は 気にて母校の爲何かとお世話下さる御樣子お禮申ます。私今は てとても元氣で女學生時代と少しも變らず弟を和手に幸福に暮 してをります。

工藤節子

十二年事變勃發以來內地の○○陸軍病院に召集派遣され救護 員の一人として御奉公させて頂いてをりました。東洋平和の爲 に至られた白衣の姿は、餘りに私達の目には尊くて傷しいお姿 でした。苦しみの中に前戰を偲ぶかの如き面持や熱にうかされ た時の譫言には少からず泣かされました。私も都合に依り十二 た時の譫言には少からず泣かされました。私も都合に依り十二 を六月末に解除になり今はありし日の勇士の方々の様子を思ひ 等べつゝ皇軍の武運長久を祈りつゝ銃後の守りにその日~~を 送つてをります。

(末平) 田 井 野 巴

の御健康をお祈りします。 す、今回左記の通り轉居いたしました故御通知申上ます皆々様す、今回左記の通り轉居いたしました故御通知申上ます皆々様

岩崎(坪山)幸子様

撃子様はよい奥様振を發揮していらつしやいます。 可愛い>坊やを中心にとても幸福な家庭に相變らず朗らかな

宮谷(猿川)セツョ様

家庭をいとなんでいらつしやいます。

酒井美惠子樣

と御一緒にお通ひとかおきゝいたしました。 昨年九月大阪からこちらにお歸りになり今は向島にお住ひで

第二十五回卒業生

(辰己) 田 中 久 子

紀元二千六百年を迎へもつと意義ある毎日を過したいと思ひつゝ相變らず凡々な日々を送つて居ります。これと言つて特にお飼ひ致しませんが柏原豊子様とはよく往來してをります、元をでいゝ子をして居りますつてことを一寸お知らせ申し上げます。

石井明子樣

暫く横須賀に行つてらつしやいましたが今はお家でお元氣に

亀山浦代様

お元氣で家事の御手傳ひをしてらつしやいます。

內 海 峰 子

永らく御無沙汰いたしまして中譯ございません。日増しに伸 を見ては過ぎし日が思ひ出され學生生活がもう一度して見た くなります。次に私事奥村といふ田舎の青年學校に勤めて居ま す。今や青年教育が重視され、我々の責務は重且つ大となりま した。小さな力ではありますけれど全靈を打込み教育報國の誠 した。小さな力ではありますけれど全靈を打込み教育報國の誠

(小川) 中村於花

ござるますから朝鮮にお出での節は是非お立寄下さいませ。でりますから他事乍ら御放念下さいませ。仁川はとてもいゝ所でりますから他事乍ら御放念下さいませ。仁川はとてもいゝ所で居ますから他事年ら御放念下さいませ。仁川はとてもいゝ所でおすから地事年ら御放念下さいませ。仁川はとてもいゝ所でおすがら、清晰の一般を表している。

は向暑の砌吳々も御自愛下さいませ。

織田ノブエ

何時も御無沙汰いたしまして本當に失禮して居ります。卒業以來皆樣とも餘りお逢ひいたしませんが、如何していらつしやいますやらきつとお變りになつてゐらつしやる事でございませて弟妹の世話をしながら日を送つて居ます。では暑さの折枘皆て弟妹の世話をしながら日を送つて居ます。では暑さの折枘皆

川原雅枝

暑中御見舞申し上げます。諸先生はじめ會員の皆様その後おの手傳や稽古事にいそしんで居ます。始め多勢でした友達もつの手傳や稽古事にいそしんで居ます。始め多勢でした友達も一人二人と減つてまいりまして、ほんの僅かの方々にしか御會ひする事が出來ません。本當に淋しく樂しかつた學生時代が思ひせされて参ります。時々頂きますお友達の御便りを本當にお懐しく拜見してゐます。何卒皆樣御元氣でどしどしとよい御便をよせで下さいませ。お待ちしてゐます。

檀 上 慶 子

に追はれ乍ら元氣で幸福な日々を送つて居ります。んので何時もお懐しくお偲び致して居ります。私は家事の手傳んので何時もお懐しくお偲び致して居ります。私は家事の手傳

檀上とし子

會人としての幼稚な歩みを續けて居ります。皆様の御多幸をいか。私もやつと長い間に渡つた學生生活を清算して、新しく社か。私もやつと長い間に渡つた學生生活を清算して、新しく社

藤田京子

舞の泣聲に一層暑さをおぼえます折枘諸先生初め同窓の皆々 を自ます。一日も早く會報の來る日を樂しみにお待ち致して て居ります。一日も早く會報の來る日を樂しみにお待ち致して て居ります。一日も早く會報の來る日を樂しみにお待ち致して

卷 幡 敏 子

嚴夏の候皆々様にはお變りなく御送日の御事とお喜び申上

様によろしく御傳言お願ひいたします。 一、致して居ります。最近女子青年の聲が高くなつて參りました。私も團員の中に入れて藏き面白く送目して居ります。皆々た。私事平凡ながらも忙しく送日し、花等の 稽 古 も ぼつ

岡 田 幸 子

は流れ去らんと致して居ります。皆様如何お暮しでございますは流れ去らんと致して居ります。皆様如何お暮しでございますが。昨年四月學校を出ると某女學校の教檀に立ち女學校時代の思ひ出も新になり、ユニホーム姿の乙女、校門をくざり行く様思ひ出も新になり、ユニホーム姿の乙女、校門をくざり行く様思ひ出も新になり、ユニホーム姿の乙女、校門をくざり行く様思ひ出も新になり、ユニホーム姿の乙女、校門をくざり行く様思ひ出も新になり、ユニホーム姿の乙女、校門をくざいます。

小林君江樣

お兄様のお店の手傳ひに毎日通つていらつしやいます。

御親戚のお手傳ひに行つていらつしやいます由。

吉川鶴子様

お元氣でお母様御指導にて家事にいそしんでいらつしやいま

平田初子樣

む裁縫やらお稽古事やらといそがしく毎日を送つていらつし

第二十六回卒業生

市原八重

その後は御無沙汰許り致して居りますが、諸先生を始め皆様神元氣でゐらしやいませうが御伺ひ致します、降つて私尾道をおまして早一とせ、その間御稽古家事の御手傳ひ等をして毎までとても静かで御座居ます。皆様御來關の節は是非共御立寄りでとても静かで御座居ます。皆様御來關の節は是非共御立寄り下さいませ御案內申上げます。

來色々な事態に處する為に暑さの砌り御自愛下さい。 々三年餘を送りました昨今では洋裁を勉强致して居ります。將 く三年餘を送りました昨今では洋裁を勉强致して居ります。將 は一本人と云ふ收穫もなる。

4

部

國

子

阿 本 澄 子

元氣でオフイスで働いてゐます。

同窓の皆様によろしく。 します。會誌の一日も早く發行される事をお待ちしてゐます。

大村 清子

務めの鐘の音に目覺め夕は入合ひの鐘の音が宵の空に餘韻を殘 っとこの神戸に來で早いもので三年になります。母の友達である關係でこのお寺でお針や色々とお稽古に勵んで居ります。神 を関係でこのお寺でお針や色々とお稽古に勵んで居ります。神 のを達である関係でいました。卒業以來する関係でこのお寺でお針や色々とお稽古に勵んで居ります。神

お別れと致しませう。がら御安心下さい。暑さの折柄皆様お体御自愛の程も祈りしてがら御安心下さい。暑さの折柄皆様お体御自愛の程も祈りして

河野ピロ子

を送つてをります。お暑さの折枘皆様の御健康をお祈り致しませず元氣にて家事のお手傳ひをしながら平凡な、でも朗かな日せず元氣にて家事のお手傳ひをしながら平凡な、でも朗かな日せる。 を送ってをります。お暑さの折枘皆様の御健康をお祈り致しませんか、お伺ひ致します私はお蔭様にて病氣一つ

添田亀代

前回の名簿が手に入つたとたんにがつかりいたしました。同窓のみな~~さまの御消息欄が不明なので、紀元二六〇〇年紀窓のみな~~さまの御消息欄が不明なので、紀元二六〇〇年紀窓のみなを共に幹事の方々の御骨折に感謝いたし、よき會誌の居りますと共に幹事の方々の御骨折に感謝いたし、よき會誌のおりますとれる。

四原多惠子

皆様おなつかしう存じます、どなたも御元氣でいらつしやい

消息もお伺ひ出來るものと樂しみに待つておりますわ。 神座いますが別にお話申上げる様な事も御座いませんの、尾道 神座いますが別にお話申上げる様な事も御座いませんの、尾道 は元氣で過してゐます、それ (一) 御結婚なすつたりで變つた けは元氣で過してゐます、それ (一) 御結婚なすつたりで變つた けは元氣で過してゐます、それ (一) 御結婚なすつたりで變つた

松本喜榮子

の御案内誠に有難く頂敷致しました。

母校の御發展をお祈り致します。 せんので會報をとても樂しみに致して居ります。 せんので會報をとても樂しみに致して居ります。

(生名村) 村 上 寛 子

を終日多忙の中に委ねて居ります。 駄句の如く、伊豫も果の小島で學生時代と變らぬ巨大な体驅 転針子のおそきしまひや虫時雨

卒業後四年、茲に紀元二千六百年を迎へまして同窓の皆様に間學校の英文豫科に入り今年漸く本科三年になりました。長い間學校生活また學生の私は、何時迄も女學生の樣な 氣 持で

竹様によろしくお傳へ下さいませ。 先生方にも同窓の皆様にも御無沙汰ばかりしてゐますどうぞ

亘 理 彌 生

卒業後一ケ年神戸に行き後ず1つと家にて家事の手傳ひをしたりお茶、生花、長唄の稽古に追はれて居ります、茶の湯では、 人江さん、黒瀬さん、中島さん、長唄では、小田原さん、上田 良子さんに、生花では澤山の同窓生の方にお逢します、皆様と して、學校や皆様のおうわさを致して居ります。

村上直子

信ひ致します。今朝程は御丁寧に近况御尋ね下さり恐縮致しまたまらない譽さでございますが皆様御元氣でございますか御

した、いつも~~御無沙汰ばかり致し相濟まない事とは思ひつ、、弟妹は多く御座いますし何とか忙しく暮してをります、皆様の御ばかり居まして減多に外出致しませんので偶に誰方かにお會ひばかり居まして減多に外出致しませんので偶に誰方かにお會ひしますと皆様の御摩を聞きお懐しく思つております、皆様の御健勝御幸福をお祈り致します。

野

榮

相變らず元氣で居ます。母校が家からよく見えますので何時 と遊んで居る氣になれません私達の頃よりずい分變つたものだ と遊んで居る氣になれません私達の頃よりずい分變つたものだ と思つて居りますでは皆様お元氣で……。

楢原美代子樣

復興大陸の首都の御感想でもおもらし下さい。北京の御姉様の御宅にて御手傳ひをしていらつしやいます。

橋本壽樣

高武トミュ様

御兩親の御手傳ひをよくしていらつしやいます。

吉井艷子樣

やいます。 やいます。 やいます。 やいます。 ベンテック

第二十七回卒業生

濱 井 清 子

やう、では皆様の御健在を恣ながら祈つて居ります。 に惠まれて愉快に過して居ります故、何とぞ御放念下さいますを報告せよとの御命令でございますが、私は何時もながら健康

森 石 富 子

ます故何卒御休心下さいませ。 を暮して居ります。一月前より三原の帝人にて勤務致して居りを暮して居ります。一月前より三原の帝人にて勤務致して居りますが御機嫌好くいらつしやいます事と存じます私も無事に日々

安保八重子樣

君は清水千鶴子様の叔父様でゐらつしやいます。脊

吉原光子樣

お元氣でお針のおけいこにお通ひです。

吉 原 芳 枝

家事の手傳ひの傍おけいこに時に尾道迄出て居ります。

家事のお手傳に多忙な日々を送つてをります。

藤田月子

を終えてから異に足掛一年を過しました、慣れない土地、始めを終えてから異に足掛一年を過しました、慣れない土地、始めを終えてから異に足掛一年を過しました、慣れない土地、始めす。又女子青年に入関しモンペ姿で銃後女性の一員として働いす。又女子青年に入関しモンペ姿で銃後女性の一員として働いております。これから氣候も良くなりますので尾道までお稽古に通ふつもりです。終りに母校の榮えまさん事と皆様の御健康に通ふつもりです。終りに母校の榮えまさん事と皆様の御健康に通ふつもりです。終りに母校の榮えまさん事と皆様の御健康

吉川綾子

になりますかしら、皆樣御變り御座いませんかそれ~~御自分をなつかしい皆樣あの憶ひ出多い校門でも別れしてから何年

ないませ。 皆様どうぞお元氣で各々の定められた道にいそしみ で幸福に家事の手傳ひにいそしんで居りますから御安心下 で幸福に家事の手傳ひにいそしんで居りますから御安心下 の下で幸福に家事の手傳ひにいそしんで居りますから御安心下

川 榮

赤

久しく御無沙汰致してあます。私共は十一日十五日迄軍除より廻して來ましたゲートルとか、徽章等の修理を四日間一日は上運びの勤勞作業をいたしましたが、私共の拙たなくも真心こめた繕ひを兵隊さんは喜んで下さるに違ひないとの信念で又皇軍將兵の方々の御苦勞の萬分の一なりとも体験させて戴ける喜びを以て五日間愉快な汗の勞働に参加出來た事を非常に嬉しくびを以て五日間愉快な汗の勞働に参加出來た事を非常に嬉しく思つてあます。十六日より始まる相當に長期間の夏期休暇も此思つてあます。十六日より始まる相當に長期間の夏期休暇も此思つてあます。

松本千鶴子

ります。そして銀行を通して「世の中の麥」も少しづゝわかつかり仕事にはすつかり馴れてしまつて、毎月を愉快に過して居かり仕事になります、大体銀行の内容もわ

友達を得てつくん〜勤めて良かづたと感じて居ります。校時代とは違つた同じ職業を持つといふ事で結ばれた幾人かのでまいりますし世の多くのサラリーマンの生活も理解出來又學

浦上辰子樣

御座います。

小林年子樣

お元氣でお稽古事にいそしんでいらつしやいます。

华田吉美様

お元氣で家事のお手傳ひをしていらつしやいます。

新澤 裕 子

第二十七回の皆様お元氣でいらつしやいますか。學巢を巣立ちましてから早や二年餘私は何時もながら健康に惠まれ平和なの國家の國と憧れた松山にこの三月から住まつて居ります。「松山」と申しますとすぐ道後溫泉や夢石「坊ちやん」を思ひ出松山」と申しますとすぐ道後温泉や夢石「坊ちやん」を思ひ出るれるでせう。坊ちやんが天ぶら四杯平らげて生徒に見つかっされるでせう。坊ちやんが天ぶら四杯平らげて生徒に見つかっきれるでせう。坊ちやんが天ぶら四杯平らげて生徒に見つかっきれるでせう。坊ちやんが天ぶら四杯平らげて生徒に見つかっ

立寄り下さいませ、 メツ に鳴雪子規虚子、 下に知られてゐる様な氣が致します。又古くは五雲、 は久松家の城下であつたといふよりも坊ちやんの舊蹟で廣く天 一皿七錢也の團子屋が道後のどこそこにあるとか……實際松山 て天誅を加へた松原 廓から出て來る所を待ち伏せて居た宿屋だとか、玉子を打突 た所だとか、坊ちやんと山嵐の二人が赤シャツと野だいこが遊 カと自ち誇るだけに尾道とは打つて變つた閑 何卒皆様こちらに御旅行の時などには是非々々お 碧梧桐等の俳人を輩出した當市は日本俳壇 御案内出来ます日を樂しみにお待ちして居 が練兵場のどこだとか 温泉歸りに食べ 樗堂、 の地 後 T

井 圭 子

塩

新り、紀元二千六百年を祝して筆をおきます。 の思ひ出は深みゆくばかりです。學校も隨分變つたでせうね、 の思ひ出は深みゆくばかりです。學校も隨分變つたでせうね、 の思ひ出は深みゆくばかりです。學校も隨分變つたでせうね、 生活を過しましたがいよ~~八月頃歸郷する事になりました。 生活を過しましたがいよ~~八月頃歸郷する事になりました。

第二十八回卒業生

村

F.

t

ス

子

居ります。勤務先は大鐵因島工場會計課です。へのせて頂けますとか會社では相變す學生時代の延長で過してへのせて頂けますとか會社では相變す學生時代の延長で過して

丹下かほる

藤井洋子

ります。同窓の皆様と誌上でお目にかゝれますのを樂しみにして居す。同窓の皆様と誌上でお目にかゝれますのを樂しみにして居りま

檀 上 數 子

私三原師範の二部に入學致しまして二度目の夏休みをむかへ

の御幸福を祈ります。

宮尾和惠

皆樣御身大切に。 裁縫手藝の専門の教育に熱心に勉强致して居ます。では同窓の裁縫手藝の専門の教育に熱心に勉强致して居ます。では同窓の

武村サカマ

折がらお体をお大切に。 庭で家事のお手傳傍らお裁縫に精出して居ります。では暑さの庭で家事のお手傳傍らお裁縫に精出して居ります。では暑さの

柴 田 節 子

ります。では皆様の御健康をお祈りします。 の手傳生花茶の湯に精出して居ます。女子青年圏にも入つて居 ります。では皆様の御健康をお祈りします。

恩地

苗

す、私事は今春技藝女學校を卒業今は毎日餘念なく家事に專念同窓の皆樣紀元二千六百年を元氣でお過しの樣子 と存 じま

致して居ります御安心下さいませ、ではこれにて失禮させて戴

上川

歲

皆様どうぞ御健かに。を育む袖長の着物を仕立てゝ行く事は何かうれしいものです。を育む袖長の着物を仕立てゝ行く事は何かうれしいものです。

野間ヒ

ラ

思ひます。皆様の御幸福と御健康とを祈りつゝ。

されてゐるお友達に比べて自分の生活が省みて本當に恥かしく
勉强にいそしんで居られるお職業に就かれて意義ある生活をな

私は大阪鐵工所庶務課のタイプの方に勤めて居ります。私達もどんなに少しの仕事でも契それが役にたつと思へばその日日を送つて居ります。

61

江間なか子

すの

皆々様御元氣ですか私父が轉動になりまして東京でくらす事

小 川 純 子

れにて失禮致します。やお稽古事で本當に月日の經つのが早く感じられます。ではこやお稽古事で本當に月日の經つのが早く感じられます。ではこれにて失禮致します。

小田原チェコ

御無沙汰致して居ります故他事ながら御安心下さいませ。ではは御變り御座いませんか私事女專に入學致しまして樂しく元氣に生活を送つて居ります。酷熱の頃となりましたが先生方に

增田正子

思ひ出しては元氣を出して居ます。廣島にいらつしやつた時にます。穆校でつらい事がある毎に女學校時代の樂しかりし日をもなれて上級生と呼ばれるうれしさに毎日元氣にはりきつてゐ

はどうぞお菓子を持つて遊びに來て下さい。お待ちして早

丹 下 明

卒業後夢の様な古都で一年間の學生生活を送り今は家に歸つ を眺めてはもう一度女學生に歸る事は出來ないかなあーと思つ を眺めてはもう一度女學生に歸る事は出來ないかなあーと思つ で居ます。

增田茅子

高師に入學いたしましてより益々元氣に勉學の道へといそしむでおります。休暇ももう四度目でございますが何といつても故は丁度學校がありますので皆様みんな御集りになつたとき御會は丁度學校がありますので皆様みんな御集りになつたとき御會な出來ませんので殘念に存じてをります。それで特に町を歩いてゐて卒業生の友達などに會ふなど本當にたのしみでございます。今度の二千六百年の記念に豊富な内容の雜誌をつくられるとのこと皆様の御消息がよく知れるだらうと樂しみに致してをります。皆様の御健康を御祈り致しております。

東京の長姉の家から澁谷の實践へ通つて居ります。習ひたい東京の長姉の家から澁谷の實践へ通つて居ります。習ひたい本許り澤山あさりつゝ毎日の生活を埋めて居ります。

退院間もなく父病氣のため休暇を利用して歸つて參りました

水田雪枝樣

ます。京都の成安女子學院に御通學で御元氣でおすごしです。 春唯一人のおぢい様が亡くなられ一人ぼつちでゐらつしやい

石井則子樣

家事のお手傳ひに專心してゐらつしやいます。

谷森廣子樣

な日々を送つていらつしやいます。
な日々を送つていらつしやいます。

增田茅子樣

お元氣で奈良女高師勉學中でいらつしやいます。

第二十九回卒業生

阿賀秋伐樣

三庄小學校につとめていらつしやいます。

お元氣にて岡

ます。お元氣にて岡山市片山技藝女學校専門部で御勉强中で御座い

吉井安子樣

母校補習科に御通學で御座います。

(小川) 福原京子

私は四月六日に東京の伯父の家に参りその家を繼く事になりました。今女子大の家政學部一類に學んてゐます。女學校時代ました。今女子大の家政學部一類に學んてゐます。女學校時代した。七月十一日から二ケ月の休暇で八月中は藤江の生家で暮した。七月十一日から二ケ月の休暇で八月中は藤江の生家で暮します。

米田ミサチ

私はお花やお茶の稽古のかたわら家庭にて家事のお手傳をし

て居ます。 最後に皆様の御健勝をお祈りします。

元 小 惠 子

につ

なつて學生時代に勝るとも劣りはしない位です。では皆様お元 後にして早や四ヶ月…思へば早い……ものですね皆様と別 ます。今頃は仕事の合間には屋外に出たり又海に入つて眞黑に た私は今では幸崎の會社で職業戰士として元氣に活躍してをり 浦 曙會の皆様お元氣でいらつしやいますか? 樂しい學窓を

最 本 百 合 子

とか心理學等数はり又彈く手ももどかしくオルガンを練習した 參ります。私は現在第二國民を養成すべくそれに必要な教授法 り後の絲濃き二葉山に登つては小學校唱歌を歌つてをります。 せつつ母校の校庭の様等眼に映りまして懐かしさがこみ上げて 諸先生方始め皆様な元氣でいらつしやいますか。ペンを走ら

同 賀 秋 代

ます。私事小學校の兒童達と日々集ひたわむれ又學び一日を過 卒業後同窓の皆様お纏りなくお過しのことをお喜び申し上げ

> して家路についてゐる様な有様です。皆々様いつまでもお健 加 合 文 子

思ひ出されてゐましたけれど今頃は世の中の情勢を知りつつ樂 早や四月思へばほんとうに早いものですね。私は卒業以來糸崎 の海事部に元氣で務めてをります。始の間は學校のことばかり 祈り致します。 しく仕事に勵んでおります。海邊の職場より皆様の御健康をお 皆様お元氣でいらつしやいますか。樂しい學び含を後にして

稻 垣 昌 7

幸福を御祈り致します。 究科に通學致してゐます。では簡單ではございますが皆樣の りまして私は相變らず元氣で女學校卒業以來故鄉の青年學校研 其の後皆々様にはお變り御座居ままんか。御伺ひ致します下

山 根

先生始め皆様御機嫌御よろしき事とお喜び申し上げます。下り 思ひ出多學窓を集立ちましてから早四ヶ月になり ますっ 諸

郷里の山や海に樂しい毎日を送つて居ります。では皆樣御機嫌れで居ります。只今は丁度夏休暇で歸省致しましてなつかしいまして私は卒業後も至極元氣にて京都成安女子學院家庭科に學まして私は卒業後も至極元氣にて京都成安女子學院家庭科に學

土 岸 洋 子

すっ

たり又戰時下の認識と充分なる覺悟を涵養してをります。て純美なる氣風を味ひつつ家庭的な女性としての素養を修得して純美なる氣風を味ひつつ家庭的な女性としての素養を修得して、

手越美干枝

服をつけかばんをさげて登校したい程です。 は淋しく新しい友とお針屋に通ひながら、家事のお手傳にいそ しんで居ます、ふとすると學校時代の事がしのばれて大變なつ しんで居ます、ふとすると學校時代の事がしのばれて大變なつ

福田智惠子

恩師 諸先生 同窓の皆様!

戦時体制下の夏は愈々酣となり山に街に忙して活躍の事と存

ひます。二千六百年の榮ある年の春校長先生の祝編の辭に送ら が學窓を巢立ちて早四月! 同窓の皆様如何お過しですか? がなる。二千六百年の榮ある年の春校長先生の祝編の辭に送ら

終に皆様の御健康並に母校の願榮えまさん事をお祈り致しま

小山田幸子

知らせまで最後に皆様の御幸福をお所り致します。サヨウナラしく朗に過して居ります。では皆々様御身御大切に、右近况おなされますか。私も其の後變つたこともなく家庭にて元氣一パなされますか。私も其の後變つたこともなく家庭にて元氣一パないらも樂

藤田盆子様

う大部よく一舉期からは御登校なさいますとの事です。 てお家におかへりになり御養生なさってゐらつしやいましたも でもない。

安保純子樣

お母様がお弱くてあらしやるので宗事一切を一人でお引受け

になりテキパキと處理して居られます。

安保千代子樣

御元氣で補習科にお通ひです。

藤田須美理様

御元氣でゐらつしやいます家事のお手傳ひしてらつしやる事

と思ひます。

安保哭子樣

す浦曙會代表として仝回幹事古澤、 細谷兩氏

十二月十二日

御悔みに参上す。

同 窓

至昭和十五年九月卅日

事出席す。 て上田、辨野、楠生、加藤、多田、水野諸幹 强調質錢事項に關する協議會あり、代表とし 午後一時より久保小學校講堂に於 て 經濟戦

十二月十三日

、甲館に依り母意を表す。 第廿五回卒業生長屋治技氏御永眠 0)

寛子の三幹率社會泰仕運動に浦曙會代表とし

午前八時より村土ミョ子、古島孝子、村上

て奉仕す。 十一月十二日

昭和十四年

一月四日

昭和十五年

一月十三日

屋食堂にて六回卒業生並に其他有志歡迎會を

午後五時頃客員工藤花代先生御

來

、防、 つる

催す午後九時二十二分上り列車にで御歸京に

死遊さるとの報に接す、代表として廣川幹事 の發送準備をなす。 第廿七回卒業生金原文子氏御令兄名 響の戦 午後一時より會議室に於て問窓會會員名簿

御悔みに巻上す。

果物一箱贈呈す。

十一月十六日

つき一同御見送りす消醫會よりお

土産として

御家のお手傳ひに一生懸命であらつしやるとか。 る客員秋山幹先生に祝電を以て祝意を 皇太子殿下主幹教授の榮職に就か せられた

甲電を以て甲蔵を表す。 現職員藤田教諭御母堂御逝去の報

K

接す、

一月日

一月二日

表として小土井教諭・駐幹事數名列席す。 藤田教諭御宅にて御葬儀行はるゝにつき代

三月廿三日

報に接

あり代表として幹事御悔みに参上す。 第廿一回卒業生濱口與志子氏御永眠の通知

發表あり。 本會會長渡邊校長吳第一中學校に 御 榮轉の

四月一日

き協議す。 午後一時より至急幹事會開催左の 事 項に

送別會開催の件 一玉成會浦曙會合同にて舉行

月七日

第廿七回卒業生後藤滋子氏御他界の報に接

場所 日時 雨天体操場 四月四日午前十一時

行事 告別式 宴會 (宴會費 圓五0

案內狀發送

三日正午迄に通知のこと。 幹事のみに發送、出席の有無を

一記念品料徴収の件

口五〇錢

全會員に通知四月末日迄に會員有志よ り徴心のことの

四月四日

車同窓會於事多數參加盛大に舉行 午後 同にて渡邊校長の送別會開催さる 論の告別式あり。午前十 午煎九時半より渡邊校長地に山 一時より玉成會と合 本鼠陽兩致 下成會理 一時頃

四月五日

閉合す。

四月十一日 午後一時より小川新育長の新任式あり。

宮田教諭の告別式あり。

四月十二日

影事多數御見送りす。 午前八時の列車にて京田教諭羽出發につき

> き協議すっ 午後三時より於率會開催總會開催の件につ

協議決定事項

總會開催の件 無會長の歡迎を飨ぬること

日時、場所、從前通り

當日式次 會從 八十一錢

新會長歡迎の辭 開會の辭 山形初子幹事 辨野タカ子幹事

本務報告 會計報告

記念撮影 協議題提出

茶菜 余興

幹事分擔任務(從前通り) 閉會の辭 對馬サカエ幹事

總會常日提出の協議題に關する件 决定(金額百圓以下) 地に庭木として適常なるものを 植樹に 紀元二千六百年事業として同 窓會館敷

の対 門您會役員に非ざるも母校職員にして永年 慶弔規約中記念品贈呈規約に關する件 五年以上の勤續者に對しては一ヶ年に 續者に對して記念品料贈呈のこと。

> 十ヶ年以上を越ゆる場合は一ヶ年に つき二側の割にて贈呈のこと。 便を加算すること。

き五圓加算のこと。 十五ケ年を越ゆる場合は 4 年に

四月十四日

於事其の他有志御見送りす。 初于氏の御主人御出征遊さる代表として辯野 午後一時五十六分の列車にて本會幹事山形

四月十五日

其の傳達依頼、狀を發送す。 市外會員並に容員に總會案內狀 宮田教諭に肥念品料として金一封贈呈す。 區域係に

香典として金一封山形幹恵より謹供す。 第九回卒業生木曾福代兵御永眠の 報に接す

四月十六日

して東幹事列席す。 午後五時故木付嗣代氏御葬儀あり、

四月十七日

につき代表として於事古島氏御見送りす。 午後二時下列車にて宮田敦崎御家 族御出立

四月十八日

家族御同件に一 午後一時八分本 下列車にて前校長渡邊先生 御赴任地吳に向 はる、 浦昭

會有志多數御見送りす

四月廿日

て金一封贈呈す。 彰式あり、消喘管より三先生に記念品 先生の廿年勤續並に上田校器の十ヶ年勤續表 午前八時半より開校記念式後今井、 料とし 堀部兩

計百七六名の多數に上る。 諸先生、 田邊忠海校長を始め手島、 午後一時より同窓會總會開催、 會員一〇〇名其の他職員 水野、 辅 宮 出 席 智科生合 所、井上 者容員

談等あり盛會型に午後五時頃散會す の後田邊先生の迫懐談、井上先生の 豫定の行事後記念撮影、 在校生 0 戰 劇觀賞其 場体驗

慶弔規約中記念品贈呈規約に關する件(同 紀元二千六百年配念事業に關する件(植樹) 是の件) 窓會役員に非ざる永年の勤績者に記念品贈 協議决定事項

幹事慶弔規約に開する件

幹事の家族中夫又は子供に出征 は代表者出頭慶事を述べ適當なる記念品贈 者ある場合

幹事優遇に關する件 毎年適當なる時期を撰び幹事並に 區域係を

> 五月廿五日 招待感勢會を催すこと。

稅五九圓。差引贈呈金額二一九、五圓) 有志の)を贈呈す(募集總額二七八、五圓郵 吳一中の渡邊前校長先生に記念品 料浦曙會

六月七日

會計報告並に會報發行の件に關し協議す。 事會開催、前渡邊校長先生へ贈呈の 午後二時より區域係長並に代表幹事にて幹 記念品料

(第一案)

會報發行に關する件

會報配布範圍 形式及內容 從來の會報と同一のもの 終身會員 十五年度迄の

(但滯納者にして今年特

(第二案)

0 形式及內容 もの)リフフレット 索引名簿 (昨年より小形

項

雨案何れにても印刷屋と相談 内幹事に一任のこと 0 結果校

陸軍病院慰問に關する件

浦曙會より慰問金を出数、

有志質費に

て慰問を行ふことの

感謝状により感謝の意を表す。 して金甙百圓也の御寄附あり、 七月一 前校長渡邊豊市先生より同窓會館建設費と H

浦

曙會々長の

七月八日

準備をなす。 午後一時より原稿募集用私製業書を發送の

七月廿六日

接す弔電を以て弔意を表す。 神戸支部長大籔ハナ氏御次男御他界の報に

八月十四日

の報に接す浦曙曾より香典として金 第十七回卒業生永井(原田)文子氏御他界 封謹供

部落葬御調郡木庄村に於て行はる代表 辨野幹事外多數列し香典並に花環を躓 されたる山内田能子氏 戦地に於てタイピストとして活躍中 戦病死 (第廿八回卒業 供す。 として 生の

り、全回幹事區城係葬儀に列し香典と 封謹供す。

第廿七回卒業生後藤貞子氏御永眠の

して金 通知あ

す、香典として金一封謹供す。 第廿八回卒業生榮花敏枝氏御他界 九月廿六日 0 に接

簿

福岡市平尾縣立福岡高等女學校 臺灣新竹高等女學校

宇都宮步兵第五十九聯隊補充隊第三機關銃中隊 廣島縣立忠海高等女學校

佐 田 一个本 非

米次郎 J.

ME

仙臺市

北四番町

+

田

掛

1

3

久保野 池田 小倉 阿久津 E

東京市世田ケ谷區北澤三丁目九七二

門司市上山

日町二三五八

神戶

大阪

大須賀 田 藏

> 尾道市久保町本通り久保郵便局內 大阪市西區江戸堀下通り五丁目三七

東京市世田ケ谷區弦卷町一 東京府立第四商業學校

ノー三六

111

大分縣立大分師範學校 廣島縣立吳第一中學校

真 木保田

喜久代

1 ヤコ

福山

城府南山町二丁目 市紅葉町

Ŧi.

愛媛縣磐城村稻本樣方 香川縣三豐高等女學校 廣島市外長東村中通一 大分縣津久見工業學校

今川 土居

7 2

尾道市久保町金剛院前 大阪市住吉區天王寺町二六九三番

京城府三坂通り二九七

兵庫縣御影町西平野五 臺灣高雄洲屏東市大宮町三丁目 松江市師範學校校長官舍

倉

春 ひ

崎 橋

力 =

2

東京市世田ケ谷區太子堂町 庭兒島市常磐町田中殿方 廣島市中水主町 一九五村上鴻太郎 九 方

> 田中 末田

0

1 7 幸

路

T

四

市林田區片山町一丁目一六〇ノセ 市大正區大正通り三丁目八九日 F 醫院 大久保 村

J.

文

子

花哭

村上 サ 力 子 工

代

畑 松 代江

地

平

小林 楠生

69

八

大津 島縣沼 道市外向島西村銀吉四 市 4 浦官 隈那今津 HJ 香 地ノニ

杉井池

出

岡 74

原

li. 水 仲 す

尾 廣

九

尼

道

市

+:

堂

MJ

里

爆

岡

H

カ

17

1

滿洲國 東 東京市麻 東京市淀橋區 賀茂郡內海町 京 ili 通 赤坂 布區網 化省 腻 長白 青 下落合四 局 代町二丁目 址 採木 南 训 公司 バノ 7pu 174

小加

池

喜代內

來

原

解 靜

長崎 佐伯 水 月 郡出 市田見小 市 片 淵町 首市 --路六 HIT H. 四八

宫本 松本 久枝 原 四 篠

邊

7 清

ヤ

3 子 榮 子

兵庫

縣

武

庫郡本山

村北畑

一八八

九

高

升

牛

北

花

营

品

郡

月

手

HT

廂

戶

市

神戶

IS. 樂町

六丁目

1 五番

地

松

油

14

"

賀茂郡東野小學校

石 井 春

71

大阪 旭 品 關 町二ノ 179

東 吳 市 古江 町 町一ノ一九橋本秀

ラみ子

兵庫縣 尾道市 ~天 市 大 外 武庫郡精道村津治六 美ノ 和 區 鄉村三成 彌 生 町 條十 七

木村 大塚

代

塚

代

岡 **奉天市大和區霞町** 湖川 紀島郡 日比町 七 九

春天 三原 尾 道 市大 市 市 栗 田 ラ浦 原町 双 E 照院 軒 家 四內

和

區富

町

砬 村

本

簡

E

田

古

田 林

乃

又 子

原

Ξ

四

+

班 席 京市大森區新井 市 告 實町 丁目 宿三丁 九三八 H

有

地

杉

本

松

枝

四〇三 H 岩 H

永之 助 方 登志子

京 市本 所 區 大平

方

松浦

橋 平 宫

富

真

田

澤

勝

玉二二〇二ノ三遠藤倉太郎 竹谷 新 11 林 方 遠 吉

田 n

文 子 3 枝

福 岡 岡 市外 市 平尾縣立 箱崎町 網屋堅 福 岡高 筋 等 出了 學校 二九 Ti. 九

金

佐

臺灣花連港米溢二〇二 廣島市本通り三丁 品郡常金丸村金丸 B

神戶 市 難區 HIT 辰 中 町二丁目

森 松

萬 春 燈

子. 1L

> 大阪 福山

春 H

日

出

田」

Ŧi.

丁月 社第

DU

迫

加

貞 京

于为

原

ス 子子 市

松

山

HI

本

赤十字

+

救

護

城

三原市東

藤原

名

中 林

第 五

向

島東專

常小

三原 香川 京城 市糸 縣中多度 府練兵町島居愛三方 小崎町 郡吉原 村岩 本甚之丈方

大阪 廣島縣沼隈郡神 東京市杉並區 F 村 井草町 字松 -〇九

奥本

鐮 風 E 高

牛 2 八 政

3 チ 重

岡

子 子

京城

島市白島西中町二一 郡沼田東村字納所 市 東 久保町後 成區東 地 桃 三番 谷町三ノ三八二山 ノ一岡本文三方 長助

住

廣

尾道 豊田

東

七八三 (電 田 園 調 布 74

安

E 垧

7

關

船町

子

京城

府漠 市貴

口

通

リ十六番 麗

地

1

大阪市卓區高 福山市松濱町

橋二丁

目

野

村

E

n

小

III

月

舟

寺

中

非 坂

子 子 子 2

尾道

市久保町

縣

池

田

大森 中 在家町 區 調 布 ---六 町 花哭

尼

崎

市

木 宅 崎 政 子 尾道 西宫市 市

喜多 丰 12 K 岡 土堂町 屋敷 京都郡 田丁 苅山 40 H 0

七

×

1

7-

社

宅

前 藤

智 白 高

井

代 サ

了

藤原

麗 靜

子

11

安 岡 20

町手 豐國

馬 三原市 山 市此花區 府 木原 通 田了 町 T 目 二十三

佐

木

岸 鄉 家

崎 田

田 25 小

石

新潟 縣 小出 田丁 浦 III

第

茫

t 回

東 京 市 雅 谷區 幡ケ 谷町 原 町七七七七 保

地 坂

愛媛縣伊豫西 賀茂郡西 府 南 志和 Ш 町二丁 村 西連 目 寺 -內 五 大田 垣 西

i

Z

町二二三 西國寺境 DU 內 池 田 滕

亀 木 兒 池 木 玉 田 村 浦

新 田 玉 義 津 ス 和 子代 子子子榮ョ子

71

梅 森

林

尾道 大阪 品 西淀 堂 租厂 川區塚木 西京町 町一九 井 常 古 方 湊 水 野 曲 凑 井 武 文 子. 子

大阪市 尾道市山 大正區 波町 泉尾中通リニ丁 金山久雄方 自 + 7 水 藥 根 辭 ZI.

吉 170 2

+ 八

吳市

警問

屋町

Fi.

丁目

早

美須

子

廣島縣賀茂郡西條町

西條東

山縣小田郡笠

岡町

住吉町 大字

Ħ

神月 神戶

市林田區長田町三丁目元田中珍

男方

西

Ш

田

中

サ T 爲 良

H

4

代

朝 鮮 京 波 府 光化門 通 IJ 景 福 宫 (W 督府宫圓 內二號

部高 城 內 北 泰 街 日 本 11 學校內 今井 豐 田 森 辰 丸 田 方 久 子

5洲國

一季天省

四

代

沼隈郡 岡

山

南村

地 th 八 漩 廣 角 廣 村 花 登 智惠子 篤 菅 代 子

九 住吉區阿倍野筋五丁目

+

番

東京市中野區騰 名古屋市

ノ宮

ノ三五

東區

F

飯

田

町二ノニ

和

HI

長崎縣西 彼杵 郡時津村農事試驗場時 津柑橘 指 单 所

愛媛縣渥美郡前

町字中

MI

米 方 伊藤 綾日 保 石 井 ŀ TE 3 子 子

吳市

141 府

手町

地

兒

E

一壽藏 保田

奥

美智

惠

釜山

昭

和

通り

大阪 783

市北區東野田四丁目六九渡邊弘方

隈

那柳

4

津

村

中 術 二ノ二九

粗中岡清次

方 方

小田

原

中 兒

工藤

3 E

ž ++

X 2

> 大阪市 新京 7告 旭區 和 胡 一概目 0 Ti

栃木縣是尾町掛水社宅 新京惠民路高一房產社 町三ノ二五 宝大號山 成克 人 力

高 四岡 鈴 田 西 橋 村 成 本 部

子江

市港東區中通リ三丁目七〇原田貞次郎

野 村 渡 田 治 忠 + Z

> 子 子

第

奈良 尾道市久保町本通り 東京市杉並區天沼二丁 尾道市長江町 東京市芝區芝浦 市高畑町破石七一 四丁 一ノ四五吉原政 六長瀬 Ħ 大方 方 1 上村 長 喜 潮 原 本 原 亀

J-

門司 京城 新京東高臺路東區道南湖社宅二四號 尾道市久保町淨土寺道 大阪府北河內郡南鄉村 市法師 金 庵町 田, 四 T 目 ---Fi. 大字 九 E. 緒 野勇 1 八三 方

正田 稲 平 T. 志 野 藤 津 美津子 3 2 貢

吉田 吉 靜

第

大 東 鹿 尾 書 版文 品 道 京 iti 市 市 郡 在 港 1: 麛 IN. 原 肝 堂 谷 班 區 曆 MI 村 中 淵 築 字 大根 娅 出 1/1 MI MT 田丁 MI 占町 九 1 九 大根 八占營 DU 亀 岡 野 临 1 11 屋 會 7 t +1 H x ヹ 枝

高 百 合子

北

次 H 子

原

论 方

> 大 東

林 林

朝

鮮

兵

庫

1 室 敏 中 雄 方 等 子

則 井 地 信 不 水 寺 野 西 7 代 # 美 子 T.

大阪

市

港

Thin'

1: 瀬 子子

村 膪

大連

街

内

尾

道

Ti 市 市

T 連 葛 = 1:

光寺 鎖 飾 7

道 清

村 腿 田 テ

上嶺 堂 梅 -

南

并

島 驛

官

舍

邮

道

तां テ

堂

大 東

阪

市 11:

東 žĽ

淀

Table 1 In.

元今 小岩

里 HI

南

通

IJ -

丁目 六

[74

京

戶

-

1

0

0

兵 膫 東

庫 島 京

縣

淮 舟 Ŧ.

庫

排 本 H

明

尾村

濱甲

子

國 勝

水

族

舘

横

11

林 木

忠 村

市 Thi

人 T

呵

1000

111

11 to

方

1:

+

條

東

166 2 阿丁

木

III 7 1]

田丁 2

DU HI

非 1: 迚 子

廣

尼

临

Ili

大物

七

+

第 MI

子 愛 洲國 島 能 祭 市 東安省滴道綠 打 府 越 南 四丁 米倉 t 町 华香 3 兵 八滿炭 地

迫 社 宅 秀 雌 一一號 菅 金 谷 大 青 中

迫

沙 7)

野

ズ

京 都市 縣 Tr. 1/4 坂島住友社 宅 村 J.

高

橋

子 7 子 =1

京區 下鴨上 原 MI 四 清吉

方 太 組

1:

7

帽 條 胡 號 新 足 會 中 央 總 會 宿 村

阪 京 京 市 阿 1/ 城 41 TEX. 大 塚 窪 町 114 福 原 作. 宫 藤 水

計

枝

久

咸 縣 市 鎚 加 旭 北 東 H 郡 鴫 道 城 1/1 野 野 HI 津 H HI + 水 內 11 高 田丁 九 調 齊 中 八藤茂 波 橋 的 重 I. 方 科 業 醫 社 院 宅 內 174 原 六 康 作 代 子 子

111 縣藤澤 HT 海岸 記念碑 前 Fi. 〇柏 村尾 原 膠 H 方 坂

智

7

神

八幡屋大通 IJ 1 木 村 森 1: 柏 屋 原 作 和 子 子

=

大阪 Thi 東 lin. 元今 里 MI 南 通 IJ T 大 野

京都 島 市 市 段 Tr. 原 京 THE . 新 北白 田丁 0.0 Ш 1 追 番 分 地 MI 11 1 九 111 英夫 番 地 力 今岡 木 原 猛 Ji

> 金 大

> 岡 野

加 野 カ × 3 11 III 侃

子

73

74

朝 調 節 那深 京 城 府 琴 常 御 成 1 mr 殿 校 DU 柿本雅夫 Ji 小 林 F 昌

J.

坂 本 11 独 柿 比 呂

11:

京四

城

邱 和

祖

初

四

Fi.

市古

九 香 地 檀 鄙 5 美

愛媛

縣

台

渝

1:

市

TER.

新

路 寺內

中

目

土屋 高 林 喜代 子 子

上海

木登

路九二

號內 福部官

外綿

花株式會

社

病

社宅

滿洲國

齊

12

哈爾 鄉村

合九三

御調郡美ノ

本

岡 水 坝 JII 志津 7 = Z 子

御

調

郡

向島西

村

斑

尾道

須

智 市 市

[14]

_ 坂

男

方

尾

道

叫「

1: 小 檀

吉本 村 1: 澤 ミヨ 子 子

東京

Th

中

野

新

井 it

川 1

四

末平

田 酒

井

野

巴

井

弘、

I

男方

砂

田

場

尾 道 縣越智郡 市 市 1: T 堂町 田町 生名 本品

田 喜代 3. 愛媛

渡

四

京

都市

1:

京

品

條通リ小

JII 番 T

東 地

人

n

岡

H

永齊

方

市

大和

H 種 鄉

青葉町 品 -横 曾 杏

市 市 曾 1: 旭

干 浦 土寺 堂

F

方

町 七

Ti. 本澄

H

DU

市 可家山 ノ手大手 政 方

青

垣

子

朝鮮咸

南洪原郡洪原邑村

上禮三

tj

7. 7-

天津市

宮島街

fi.

1

ノ十一賴井秀夫

h

1/1

非

16

京東城

總

布

1

1

號堅

型器

土居

Ш

子

村

甲

三七

Fi.

武安

惠美子

前不電機商 日馬場茂

向

世紀

子

尾

尾道· Ti 栗原町 115 新開

兵 尾 庫縣 道市 武 1: 庫郡御影町 堂町海岸通 游家字 庄 田

JU

泉

小

太美子

土堂町

小

川隆造方

石

H

圓

1 多

3

=

大連市 神奈川

柳

四丁

七

天 福 倉 卡 野

幾江

縣鎌倉

和出州潮

凹了

HI

袋四

八五

玩 尾 兵庫縣立淡路高等女學校 大分縣西國東郡高 庫 道 市中 拉 庫郡五木村五林御代開 強 抓 町光銀寺 内

> 大元 田 恒 石 i 1

7

大 美枝子

> 兵 編 尾

> 庫 111 道

縣

hi

石 H

郡

垂

水町舞

子三

八七

安保

婶

1/2 市

[11]

女學

校

六二

西脇

損

連市 F 老 1 九

太 郎 藤田 村 H 小 富 11 1 ŽI. 保 谷

美 子

中满 正 號 夫方 ノニ 黑潮 笠井

H 中 I 亀 藤 满 光 澄

北 村 脇 左加 枝 ·F. 江江

尾道市 大連市桔梗町七七 岡縣戶 四 御 畑 所 市澤見通り三丁目木村秀臣 町 中央洋服 店內 內 陰山 村 F.

唐 矢 木 野 候 和 J. 惠 枝

仁川 神戶 市 松坂 林 町 品 神戶 高等家政 五 女學校

一,五 丁目 谷山 金光 小川 田 權 中 岡

岩國

市

H

吳市岩方通り一

府

好 唯動 YX. 岩 志惠 子 志花

宫地 115 林 111

六

高市字品町三

T

目

京

市

葛飾區

本田

御調 大阪

庄町

尾道市東 御調

御

所

MI

市東成區

一勝山

通り

七丁

目

四

四番

地

郡

因島 横山

土生町 F

京市芝區芝公園第六號地共立 谷區代田 立石 村井 fli 水 HI 海助 T 六〇 i 四 方 174 女子 九 村 1 1: 光明 藥學專門 西原 澤田 方 學校 村 間 H 井 本 山喜惠 为

> 第 + t

廣島市 尾道市 京都市 尾 市 長江 東山 研 四日 屋町村井榮生方 町 In In 町三七 一避谷通り小松寮 三丁目安部增雄 Ħ.

方

八

東京市芝區田 吳市西愛宕 町三 村町五 各 地 丁目十九番 地三 和 7 30 " 1 石 製作

井

T

代

子

所 内

尾道 岡 山 縣上 市長江町 道郡 可知 111 城 村可 知尋常高等小 趣

吉

光

ス T

1 工 ·惠子

九

尾道 尾道 尾道市久保 尾道市吉和 同 市十 市久保町 堂町 四 HIT HI 日 幸 MI 前

御調 同 郡向島西村 M H 田了 干汐

廣島市戦町 **奉天大和區** 東京

市

111

III

15

富

1:

四四

澤 田 村 宫 安 赤 III 鶴 子

回

回

尾道

市久保

町

浅 浅 淺 BAJ 秋 赤 井 井 井 正 清 理 子 子子 7

廣 尾 島市宇 道 隈 都浦 市吉 品 和 町 町 沖測 女子 專 問 學

校

福 廣

山市

草戶

HI

島市宇

品女子

專

問

學校

調郡大濱村

尾

市

+

四 堂

日 田丁 H

町

1: +

愛媛 州隈

縣越 都干

智郡盛口

字

井

П

道

क्त

町

大阪 尾 道 道 同 市 郡 市 郡 市 久保 河 北 市 市 向 向 村宇 內 區 村 波 島 善 貝 町 村 III 时 西 字 源 村 3 村 寺 Z HI 永 奥

豊田 阪 調 郡幸 府 郡 些 深 士: 崎 能 田 堂 郡 田丁 村 宇 大 東 宇 和 總 村 久 地 谐

同

+:

堂町

井井 井 井 稻井井泉石石石池池池 稻 稻 安 手 筒 J. 垣 原小 J. E. 1 谷田風井田 田 垣 垣 佐 靖 宫 良 加 " 子 8 子 榮枝江子 x 子

> 豐田 尾道

> 郡幸 市

> 町 町

宇

和

島

久

樣 様 方

御調

郡

重

井 崎 保

村

年村

大字

草深 村

尾 御 尾 御調郡岩子島村 調 道 道 郡 市 市。 久保 田 保 熊 町 村 111 強 脇

尾道 東京市小石川區第六 御調郡岩子島村 市久保町

天町

四

小川

神月 原 知 媛 道 同 道 n 市 縣越 市 市 郡 市 兵庫 知 西 + 久 + 智郡 多 四 保 保 町 JU 堂 圖 町連 郡大高町 日 日 町 HT 永澤 町 弓 村 町 花 村 坂 字川 1:

町二丁目 向 板 鉛 倉 木 金 IE. 作

小小 胡 奥 冲 惠內字 宇 上岩 山 田 江. 原 111 谷 杉 元 谷海 坪 登志子 干 節 3 11 純 滿 E 睛 鶴子 璃 2. 節 子、丰 子絲

76

尾道 尾道 兵庫 沼 御 原 同 限郡藤江村才戶 道 同 道 同 阿 道 隈 調 同 市 市 縣武 市 市 市 市 郡 挪 久保町 吉和町 杀崎町 栗原 土堂町 土堂町 +: 久保町 土堂町 樂原町 土堂町 栗原 重井村 + 明 久保 久保町丹花 中濱通三七 鞆 堂町 御所 四日 庫那鳴尾芝崎 町 mr HJ 田丁 MI F組 小學校上 渡邊行一 東 MT 稲 野 奥田善 地 3 様方

管 加 黑 國 油粒 河河河河金 片 柏 时 富美子 八重子 多喜子 時 才 信 光 賀子 子 子 子 世 惠 子子枝文

神戶市須磨區

大手町六

丁目

井上

茂子

様方

調 同

郡

向島西村 向島東村彦ノ上

尾道 尾道 廣島市牛田町南土手通七〇 御調郡向島立花村 御調郡向島西村兼吉 市 市 栗原 栗原町 栗原町 土堂町小學校下 町 下組 14 田

尾道 神戶 山 同 道 調都岩子島 京 同 同 市外本山 市 市久保町 市 市 紙屋町 栗原町 豐島區 久保 久保 土堂町光明 土堂 +: 堂町 町 町 町 MI 村中 雅 174 防 村 番 地 司 野神月 寺 ケ谷一ノ三元 地 檔 女子藥學專問學校 篠原様

方

様片

潮 島 島 重 作坂 垣 千枝子 美惠子 富美子 美枝子 利 1 百 例 合子 モヱ 子· 子 枝 子 子 枝 H

尾道 御調 尾道 尾 尾廣 道 調 調 道 同同同同道 田 島 同 道 調 同 郡岩 市吉 郡田 那河 郡 市 市 那 市 市 市 市 郡 久保町 栗原 長 土堂町 土堂 士: + 楠 栗 田 中 堂町 熊村 熊村 保町 原町 內 四日 堂 iL 和 子 木 熊 唐村 堂 保 町 田丁 町 島 町 田丁 呵 四丁 田丁 町丁 米場 米場 東 字 浉 HT 河 新 T 濱 戶 開 町 目

中中 中土德土寺手坪土綱土田田竹田高高高 岸 滿 井尾越山屋宫屋 中內頭竹垣垣 Ш 中 淳 嘉 美 都 富 勝 睦 住 道 文 千 紀 士 子 子 枝 子 子 慶 子 枝 子 子 江 干 百 IE 合子 3 子 重

御 京都 田 道 道 調 道 同 同 調 同 同 島 同同同 郡 郡 市 郡 士: 市久保町 市 市 市 市 東山 木 吉 久保 土堂 栗原町 久保町 東山 向 向 堂 宇 島西 四日 四日 1 島 和 原 四 町 保 H 保保 保 江 PH 日 宇 町 町 七 町 町 町 區第二小 町 町町 丹花 村 吉浦 村銀吉 町 條京都女專 町 町 塚 町 塩 女子 本 žE. 田 町 專 松寮 問

78

題 校

半原 橋 灰 村間 7 3 合子 惠子 3 子 子 子 子 子 子

尾道市 調郡 調郡中ノ 島市東本川 岡若松市新中町 同 同 市 市福戶 郡 栗原 久 栗原町 + 向 保町 空町 和 原 島 庄村 町門 町 町 田丁 品 字 沖新開 明 村 江ノ内 石 原野樣方 町

久保

町

一一〇字多繁野樣

方

島村

村

堂町千光寺

市

町

加川武雄様 西

方

御 東 調 京市小石川 鄉 土堂町千 向島東村 栗原 町 區目白臺日本女子大學校 一光寺道 彦ノ上

美 見 松 松 正 千代子 小夜 美惠 枝 子 子 子 子 尾道 御調 尾道市 御調 尾道市 大阪府北河內郡牧方町大阪女子醫學專 御調 大阪市東成區南中 尾道市久保町 御調郡木ノ庄 尾道市土 島市 道 田 隈郡百島村 道 郡 市 郡 那田 郡大長村 市 市麻布區奔町 土堂町

土堂町 土堂 土堂町 重井村 外五日

字 東秀太郎

鄉

樣

町

三庄町 久保町 市

田

土堂

田丁

心郡浦崎 市 郡 久保町 土生町 村戶 塩産

土堂町

濱通

五丁目

大島芳次

間 郎

學校 樣 方

同

市

町

十四日 土堂

HIT

郡

向 久保町

島東

村

郡向島東

79

村 村村村村村 村村村 村村村 上 J. J. 代子 子江 子 子 子 子 子

尾 旅 道 島 市 市 火 保 品 町 HIT 後 to 7 車 問 學 校

同

栗

原

田丁

沖新

開

万

吉吉吉山山山山

美

初

非木

子子

金三千七百

六圓

Ti.

+

Ti.

錢

本

期

收

入

高

本

期

支

出

高

辭 安 借

1)-

工 枝

尾道 岡 维 縣 市 梁山 見島 + M 郡 郡 H 藤 町 B BIT 藤

調 南 郡 向島東 向 島 東 村 村 南 大町 北亭 大 mr 4

道 市 174 堂 H HIT HI

尾道 隈 市 挑 久保 鞆 NI 町

媛 縣 越 智 郡弓 削 村 1. 马 削

> 3 か

1 3

ほ サ

曙 會 般 會 計 報 告

和和

++

五四 年年十十

月月

五一 日日

浦

金 1 T 六 + 圓 六錢

前

期 繰

越

高

至自昭昭

金五 T H. + 四 + 圓 + 錢

現在 高 金 七 百 三十 圓 Fi. +

錢

原 原 原

差引

延 光

子 子

浦 曙 會 特 别 會 計 報告 至自昭昭 和和 ++ H M 年年 ++ 月月 五一

日日

金 h. T 九 百 + 員 七 + 錢

金六

百

八

+

h

圓

九

+

錢

金

T

Ŧi.

百

+

六

本 前 期 期 繰 入 越

高

支 收 出 高 高

于七十一 員 圓六十二錢 本 期

差引現在

高

金

五.

+	第	425													
	+	第十	第十	第十	第	第	第	第	第	第	第	第	第	第1	卒業
Ti.	PU	2-2		-	+	九	八	七	六	五	79	=	=	-	平回
回	回	回	回	[11]	回	回	回	回	回	回	回	回	回	回	期
-	120				1		- 13		10						會
11111	六〇	0	九二	八	八	八	八二	五.	七三	七	124	175	=	1714	會員數
	0		-	H.	七	PU	-	八	-	八	***		七	五.	-
=	-	-	-	-	-	189	-	1 3	-	=			175		者死數亡
五.	六	五.	=	七	八	九	五.	七	H.	0	六	九	八	七	
-	-						72								現在
0八	23	八六	八〇	七八	七九	七五	六七	五	五八	五八	三五	H	=		在總數
~	第	第	第	第	第	第	第	第	第		第	第	九第	八第	卒
4	#	#	#	廿	#	#	#	廿	#	第二	+	+	+	+	樂
計	九回	八回	七回	六回	五回	四回	三回	一回	回	十回	九回	八回	七回	六回	回期
-	2				200	1						10.4	F-1	4133	
<u></u>	九	10	-0	+	五	五	24	py .	12	III	74	=	Inz	1/19	合員數
=	七	OIII	七	七三	八	天	三	五	九	大	五	OIII	四三	0	數
四二二三〇六							1							-	者死
六		24	124	七	六	===	五		八	0	111	八八	八八	110	者死數亡
=						100		-	. 10						現
	九	九	0	六	五二	五	11	HE	14	141	H	-	=	111	在總
	t	九		六	=	五三	八	174	-	六	Ξ	=	五	0	總數

御逝去の報に接し謹みで裏博の意を表します

客 員 長 谷 川 英

子

同窓會は左記會員の御永眠を深く悼みます

V MARKET	NG DO	911/29	W 1000	DESCRIPTION OF THE PERSON NAMED IN	or married	- CONTRACTOR	SACRETARY	DESCRIPTION OF THE PARTY OF THE	NAME AND DESCRIPTION OF
"	"	"	"	十五回	"	十四回	十二回	十回	六回
		(令北)	(淺野)	(不動)	(佐藤)	(横山)	(中田)	(中司)	
篠	大	石	武	守	臉	近.	天	大	中
原	野	JII	頭	Щ	Ш	藤	野	本	村
7	綾	1	花	久	千		勝	辰	1
サ	于	千子	千		代子	交	代	野	y B
"	二十八回	二十七回	二十四回	二十二回	干一回	ル(廣	十九回	十八回(藤	十七回〈原
						I		进	思
III	榮	後	宮	竹	濱	村	7	伊	永
內	花	藤	本	本	П	E	B	藤	井
田	敏	真	千	费	なま	久	和	" 3	交
野子	枝	子	子	子	子	芳子	子	2	子
	原マサル山内田鎚	野綾子二十八回祭花敏	篠原マサル 山内田鶴 大野綾子二十八回 榮花敏	篠原マサク 山内田鶴 東 在 教 正 頭 花子 二十八回 榮 花 敏 真 で 本 千代	(全北) 石川 トキ子 二十二回 代本豊 大野 綾子 二十八回 常本 千代	(左藤) 廣川 千代子 二十二回 済口 な志 (左藤) 廣川 千代子 二十二回 行 本 豊 大 野 綾 子 二十八回 管 本 千代 藤 真 様 彦 二十八回 祭 花 敏	四回 (横山) 近 藤 女 〃 (廣川) 村 上 久美 五回 (宋勳) 守 川 久仁子 二十二回 一	「四回 (田中) 天 野 勝 代 十九回 千 日 和 四回 (横山) 近 藤 文 〃 (廣川) 村 上 久美五回 (不動) 守 川 久仁子 二十二回 竹 本 豊 (令北) 石 川 トキ子 二十七回 後 藤 貞 (令北) 石 川 トキ子 二十七回 後 藤 貞 千 代 千 十 千 千 千 千 千 千 千 千	回 (中司) 大 本 長 野 十八回 (藤井) 伊 藤 ミッ四回 (横山) 近 藤 文 〃 (廣川) 村 上 久美 三田 (全来) 廣 川 千代子 二十二回 一行 本 豊 (全北) 石 川 トキ子 二十七回 一 後 藤 貞 (全北) 石 川 トキ子 二十七回 一 後 藤 貞 であっている (全北) 石 川 トキ子 二十七回 一 後 藤 貞 であっている (全北) 石 川 トキ子 二十七回 一 後 藤 貞 であっている (全北) 石 川 トキ子 二十七回 一 後 藤 貞 であっている (全北) 石 川 トキ子 二十七回 一 後 藤 貞 であっている (全北) 石 川 トキ子 二十八回 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一

樣の御動群を中心に編みました。本誌により非常時局下に於け 致しまして母校の諸先生並びに客員の先生方の御消息と會員皆 かねまった事を衷心より御詫び致します。幹事の皆様とも相談 らも御注意がありましたので思ふに委せす折角の御期待に副ひ 並びに客員諸先生の御玉稿に對し深甚の謝意を表します。 い御生活の御慰安と御健闘の一助ともなれば幸に存じます。締 る諸先生の御活躍會員諸姉の御發展の一端を覗はれ目まぐるし き會誌をと思つてあましたが何様物資節約の折柄、 切後に到着いたしました玉稿の一、二は都合上掲載不能となり 樣欣快至極に存じます。本誌は出來る文この佳き年を記念すべ 皇威赫々たる二千六百歳に生れ命ふ事の出來ました事は御同 今事を御斷りいたします。最後に小川會長先生井先生 殊に其筋か

紹品 輯 子

> 昭和十五年十二月 日發行 日印刷 (非寶品)

發編 行輯

尾道市久保町蓮花坂佐藤六一方

田

亀

六

廣島縣御調郡田熊村一〇六一 本

印

嗣

福

新 市

刷 所

印

刷

所

福

本

印

廣島縣御覇郡田熊村一〇六一

發 行 所 廣島縣立尾道高等女學校浦曙會

